大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　二月十六日

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓　郵税一ケ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用（3）二一二五　營業局專用（3）三三〇〇）
發行人　河本　忠
編輯人　榮　男
印刷人　水越　内之介

黨内の要望に鑑み 鈴木總裁正式辭意表明

久しきに亘る懸案茲に解決 革新派の運動奏功す

【東京國通】鈴木政友會總裁引退問題は久しい以前からの懸案であつたが、最近にいたり黨内の所謂革新派の

運動によつて新に口火が切られ、遂に十四日の顧問會議開催となり始めて公の問題として表面に現れた、しかして顧問會議の結果は

鈴木總裁の現在の病狀をもつてしては到底政友會の統率者としてその任を全うすることは不可能であり、非常時局の公黨を任す譯けには行かないから私情を捨ててその引退を要望するほかないが、唯その促進の具體的方法は留保する

といふに決した、この顧問會議の決定は黨内の大勢を反映したもので鈴木總裁引退要望は遂に黨の全面を壓する情勢となつた、よつて鈴木總裁の側近者もこの大勢を察し總裁自身に自發的勇退を求めることゝなり、その決意を促した結果、鈴木總裁もつひに黨内の空氣に鑑みて、この

進言を容れ引退の決意を固め、十五日深更安藤幹事長に對しその旨表明した

藏相の演説に

財界、金融界無條件贊意表明

【東京國通】財界ならびに金融界は結城藏相の十五日の衆議院におけるその財政演説に對し、一般に無條件の贊意を表してゐる、すなはち財政演説はその性質上概して抽象的内容にとゞまり具體的方針の特に新しく示されたものは先づないが

一、國防の充實と國民經濟力の充實とは並行的に進めて行かうとすること
一、經濟政策の樹立については官民協力により各産業部門の綜合的調和的前進をはかり急激な變化をさけ民間企業心の發揮を阻碍しないやうにすること
一、生産力擴充のため日銀、興銀等を動員して産業金融に積極的に乘出す意向を有すること
一、金利政策に關して低金利を急務としてゐること
一、通商關係の明朗化をはかり國際經濟の恢復を期すること
一、物價の不自然な急騰をあくまで防止せんとの意向を有すること

等を演説中に取上げて強調したのは財界金融界の要望をそのまゝ表現したものとして全面的に好感をよせてゐる

日支提携を 阻碍する者は進んで排除

林銑攝外相の言明注目

【東京國通】林銑攝外相は十五日の議會の外交方針演説において

對支外交に重點を置き特に日支關係明朗化を圖るため單に政府のみならず特に民間の接觸を繁くし日支提携協助の實績をあぐる必要があると積極的に日支親善工作の必要を強調すると同時に苟くも日支提携を阻碍せんとする者は進んで排除する覺悟を有する旨を言明したのは林内閣の對支政策がその基調たる親善工作の反面にその目的上遂行に相當強硬なる措置をも辭せぬとの決意を反映したもので即ち、排日的空氣が日支國交阻碍の原因を爲してゐるのに鑑み、右方針の第一目標は支那朝野の排日的空氣の一掃、排日運動根絶の要求にあることは明かであるが、我方としては日支調交調整は單に排日取締に止まらず諸懸案を解決せぬ以上實現不可能との見解を堅持してゐるので、右言明は同時に國民政府の内外を問はず一部勢力がかゝる懸案の解決を阻碍せんとすれば積極的にこれを排除せんとの確固たる方針を闡明したもので、林内閣の對支政策の根本態度を示すものとして注目に値する

政黨の反軍態度 停會前と變らず

陸軍強硬意見を持す

【東京國通】停會明け議會における政黨側の態度につき陸軍側は

相當の關心をもつて臨んでゐるが、同日の結果につき左の如くみてゐる

停會明け後も政黨の本質に根本的な變化があらうとはもとより豫想しなかつたがあまりにも變化のない事が今日一日だけで充分に知ることが出來た、停會前と強ひて異るところをさがせば停會前には露骨に現狀維持乃至軍部攻撃をなしたに反し、停會後にはつとめて婉曲な態度と言辭をもつて臨んでゐるといふ點のみであり、小泉、植原、川崎氏等の演説も同工異曲であつてこれを要するに解散を回避しつゝ從來の目的を巧みに達成せんと企圖するに外ならない

とし政黨に對する見解並に態度においては矢張り停會以前と異るところがない、しかして十五日の衆議院本會議における質問演説中軍事費をもつて不當に過大なりとするが如き言辭ならびに軍事費成立の經緯に關する臆測、宇垣内閣流産の經緯、外交一元化等陸軍の態度に關する言辭等のうちに陸軍部内を刺戟するが如き意見が二、三にとゞまらざる模樣であるが、一末梢的なものに拘泥せず、敢て問題にしない意圖とみられる、しかし末梢的言辭の累積は結果において本格的反對乃至攻撃と異らないが

故にかゝる末梢的言辭と雖も今後重ねて繰返される場合は斷乎たる態度に出る意圖の如くである

鐵鋼國策に一暗礁

日滿銑鐵共販會社設立難

【東京國通】鐵鋼飢饉の一對策として日滿銑鐵一元的販賣統制機關創設の議は日鐵と昭和、本溪湖三社間に基本的諒解がなり日鐵では商務委員會、滿洲側は滿鐵重役會でそれぞれ承認するところとなり、滿洲側としての最後案をもつて去る一月上京した武部滿鐵理事と日鐵との間に具體的折衝を殘すのみとなつてゐたが、消するのやむなきにいたり武部理事は二、三日中に退京することゝなつた、しかして右問題の暗礁に乘上げた理由については當事者は嚴秘に附してゐるが、いづれにしても今後日鐵と滿洲側との共同出資による銑鐵の共販會社設立は困難になつたわけであるが鐵鋼國策の一翼として必然約に要求される銑鐵販賣の一元化形態が今後如何にして現れるか大に注目される

豫算審議日取

【東京國通】衆議院豫算委員理事會は十五日午後零時半院内に開會、日取を左の如く決定した

一、豫算總會　二月十七日より廿五日迄八日間
但し廿一日の日曜は休む
一、同分科會　廿六日より三月三日迄六日間
一、三月四日は豫算總會第九日（豫備）
一、同五日豫算案に對する討議決定
一、同六日豫算總會決定報告
一、同七日審議期間滿了（豫備）
なほ廿一日の日曜以外には休まずに精勵審議に當る

于軍政相歸京 舊正

月で歸省中であつた于軍政部大臣は十五日午後八時四十五分着列車で歸京した

河本滿炭理事長

河本滿炭理事長は十五日午後八時四十五分着はとで大連から歸京した

宮澤地方部長 滿鐵

地方部長宮澤惟重氏は事務打合せのため十七日午前八時十分の列車で來京する

熙宮内府大臣歸京

舊正を利用して十三日故郷吉林に歸鄕老母に孝養を盡した熙宮内府大臣は十五日午後七時三十五分歸京した

前田旅順要港部司令官 挨拶に來京

旅順要港部司令官前田海軍少將は國都各機關に新任挨拶のため土手參謀、辻機關長、後藤軍醫長を帶同十六日午前八時十分の列車にて大使館澤田參事官、駐滿海軍部林副官、岩坂海友會長他關係者多數の出迎へをうけて着京駐滿海軍部の自動車にて日滿軍人會館に向ひ少憩ののち午前九時三十分駐滿海軍部を訪問、林副官の案内にて新京神社忠靈塔へ參拜、十時十五分宮内府に伺候皇帝陛下に謁見、十時四十五分軍司令部、大使館當局を訪問挨拶をなし午後六時五分國務院を訪問張總理の招宴に臨み軍人會館に宿泊し、十七日は午前十時から市内各方面を視察し午後六時から駐滿海軍部の招宴に臨み十八日午前十時の列車で歸旅する豫定である

司令官日程

前田旅順要港部司令官は十六日來京したが、同司令官の新京におけるスケヂユールは左の如くである

二月十六日午前八時十分新京着
同九時四十五分新京神社參拜
同十時忠靈塔參拜
同十時十五分宮内府參内、皇帝陛下に拜謁
同十時四十五分より關東軍司令部、大使館、關東局訪問の後各部隊訪問
同十一時三十五分より國務院、外交部訪問
同十二時半より國務總理の招宴に出席後、民政部、軍政部訪問
午後三時より植田軍司令官ならびに各部隊の答禮を受ける
午後六時植田軍司令官の招宴に出席
十七日市内視察
十八日午前十時新京出發歸旅（寫眞は張國務總理と會見の前田司令官）

大島司長歸京談

北支視察中の民政部大島警務司長は十四日午後十時着列車で歸京したが、左の如く語る

舊正休暇を利用して遊びに行つたので何等特殊使命を以て行つたのではない、北平には十四年前遊んだことがあるが昔變らぬ古都の趣を味つた、ハイ・アライも天津で見學したが、餘り面白過ぎるので滿洲に設置されたら汽車賃を拂つて地方からも行くだらうが、日本人の客が多いのは注視すべきだと思つた、北支にあつて滿洲國を想ふとき初めて滿洲の實體が摑めるような氣がした

人事往來

着京

▲淺沼謙三氏（會社員）十五

▲日來京ヤマトホテル
▲泰木次郎氏（同）同
▲高屋康彦氏（同）同
▲柳樂達見氏（教育家）同
▲首藤充氏（商）同
▲中富貞夫氏（官吏）同
▲鈴川春雄氏（同）同
▲ラグトン氏（駐連アメリカ領事）同
▲伊藤太郎氏（鐵道總局參與）同
▲西谷實一氏（會社員）同
▲眞藤百利氏（三菱重役）同
▲井上剛太郎氏（洋灰公司）同
同國都ホテル
▲岡本健一氏（商）同
▲水江寛元氏（同）同
▲松永彦一氏（朝鮮商工）同

▲井上邦雄氏（商）同
▲依弘氏（滿鐵）同
▲土屋定國氏（官吏）同
▲宮副義智氏（三和ゴム）同
▲山本節民氏（同）同
▲柳井雅生氏（同）
▲荒木利恭氏
▲永松謙兒氏
▲田所定右衛門氏
▲平林松美氏（大和新館）
▲飯島貞次氏
▲有久直忠氏
▲同譽屋へ
▲瀧山清四郎氏（安…）
▲小林清造氏（滿…）

出發

▲前渡仲尾氏　十五日
▲千葉秋雄氏　同
▲酒家彦太郎氏　同
▲吉田金雄氏　同
▲村田懿磨氏　同
▲西浦進氏　同
▲松浦正雄氏　同
▲增田千里氏　同
▲石井貫一氏　同
▲阿部孝三氏　同
▲板谷韜造氏　同
▲大迫幸男氏　同
▲萩原鐵藏氏　同
▲満田壽夫氏　同
▲大西喜策氏　同
▲土肥岩雄氏　同
▲石橋德太郎氏　同
▲松井佐兵康氏　同
▲中西正雄氏　同
▲秀島秀夫氏　同
▲寺田正一氏　同
▲大野垣三男氏　同
▲萩野義人氏　同
▲油井文市郎氏　同
▲三井孝一氏　同
▲木山俊行氏　同
▲今井兼三氏　同
▲德川守氏　同
▲鎌田除一氏　同
▲石崎哲太郎氏　同

その日〳〵

□ 病總裁、政友會…三郎氏、遂に正式…懸案解決
□ 動選を辭して、…選擧に出場みごと…男機を見るに敏な…
□ さて問題は後任…大命拜辭の起らぬ…氏も一枚加はる…
□ 結局のところ顧問…議制でしばらくお茶…落か……
□ 停會明け議會第一…色彩更に見える由、…政黨に色彩も緑瓜も…

歌はぬ樂譜（六十二）

山中峯太郎 作
水門讓二 畫

新しき痴女（三）

『お歸りなさい！』

突ッ立つた儘、さういふ忠夫を、下から正枝は、まばたきもせず見つめると

『本野さん！』

急に、座りなほして、はげしく呼びかけた。そして

『あたしを、そんなに恥かしめて、それであなたは……』

ふるへる聲が切れて、正枝は血相をかへてゐた。

——恥かしめる。さうした意思は、僕にない。

忠夫は、さう思ひながら、自分も青ざめて言つた。

『迷惑なんです。お歸り下さい』

『……』

ジッと正枝は瞳を見すゑると、押しだまつて、ワナ〳〵……

英子夫人には、執固く言ひ寄られた自分なのだ。この藤岡と英子夫人の前で、俊子に會ふことは、忠夫にとつて、とても堪へられないのだつた。友の少い忠夫は、同僚の教師を訪ねるのも、氣がひけた。

——そこいら歩き廻つて、正枝が歸つたあとに、下宿へ歸らう。

まるで追ひ出されてきたやうな自分を、忠夫は、まざまざと見た。

——まさか今夜ぢう、正枝がゐることもないだらう。とにかく市會議員の令孃であり無斷の外泊を、家庭で許すとは思へない。

忠夫は、横路へそれて行つた。

机の前にあのまゝ頑張をしてゐるか正枝のヒステリックな姿を、ふと忠夫は想つて見た。

——家庭で外泊を許さないとしても、彼女が、あのフラッパアの正枝が、勝手にあゝして、夜ぢう机の前にゐるとすると、これはどうなるんだ？

忠夫は、歩きながら、眉をひそめた。

——それくらゐのこと、やりかねない正枝なのだ。

時計を、忠夫は上衣のかくしから、出して見ると、また眉をしかめた。

七時廿三分。

夜が來たばかりである。かうして歩き廻る憂欝さにも、堪へられない氣がして、いきなり、スタスタと歩き出した横の八百屋の店から、ひさい雜音の入つてるラヂオが、路の上へひゞいてくる。それにも忠夫は、氣持ちをかき亂された。

『石田君ぢやないか』

ふと後から呼ぶ聲が聞えた振りかへつてみると、忠夫は、思はず立ちすくんだ。

村上校長だつた。春のインバネスを着て、傍に並んで歩いてくるのは、夫人らしく、その横になほキミ子が、あどけなく微笑しながら、顏を赤らめてゐるのだつた。

新京神社祈念祭

本年の五穀豐穰を祈る新京神社の祈念祭は十七日午前十一時から尾形幣帛供進使參向のもとに左の次第にて嚴肅に執行されるが當日はもとより市民多數の參拜を望むと

▲當日早旦社殿を裝飾す
▲時刻齋主以下所定の座に着く
▲次幣帛供進使參進是より先手水の儀あり
▲次幣帛供進使祓所に着く
▲次修祓先御幣物次幣帛供進使及隨員
▲次幣帛供進使所定の座に着く
▲次御幣物辛櫃を便宜の所に置く(幣帛供進使隨員副ふ)
▲次齋主諸事辨備せる由を幣帛供進使に申す
▲次齋主御扉を開き畢りて側に候す(此間奏樂警ヒツ)
▲次副齋主以下神饌を供す此間奏樂
▲次齋主祝詞を奏す
▲次幣帛供進使隨員御幣物を辛櫃より出し假に案上に置く業は豫め便宜の所に設く
▲次齋主御幣物を奉る
▲次幣帛供進使祝詞を奏す
▲次幣帛供進使玉串を奉りて拜禮(玉串は隨員之を附す隨員列拜)
▲次齋主玉串を奉りて拜禮(玉串は祉掌之を附す祭員引拜)
▲次參列員玉串を奉りて拜禮
▲次副齋主以下御幣物を撤す
▲次副齋主以下神饌を撤す(此間奏樂)
▲次齋主御扉を閉ち畢りて本座に復す(此間奏樂警ヒツ)
▲次齋主祭儀畢れる由を幣帛供進使に申す
▲次各退下

首都警察専用電話 愈よ十七日開通

總て自動式に一齊手配可能 犯人逮捕も思ふがまゝ?!

首都警察廳がかねて懸案の警察専用電話はいよく明十七日をもつて開通

國都の治安はその鋭敏な機能を活用して更に强化される、經費三萬五千圓、三ケ年繼續事業の二ケ年を完成して取敢へず本廳及び管下長通路、四道街兩警察署に架設されたもので他警察署はその新築を待つて設置され、四年度中には管内全派出所に配線工事を完了することになつてゐる、架設された三台の交換臺は警視廳、大阪府警察部のそれに等しい自働式警察専用電話交換台と呼ばれ、これによるときは從來の公衆電話のごとく通話が外部に洩れることもなく、他との話中で手配に手間取りみすく犯人を逃亡せしめるやうな苦々しい過去の經驗も一掃され、「すは事件だ!」と言へば鈕一つで管下各警察署はもとより全派出所まで敏速な一齊呼び出しがきゝ、瞬時にして全警察機能を總動員し非常手配を

行ひ得るもので初めて新京に實現した文化警察の別働、警察専用電話の利用價値は頗る期待されてゐる

送付の件
二、省、縣公署に於て救濟委員會を組織し救濟に努め、資金不足の場合は避難民救濟費より支出すに決定、なほ協和會國防婦女會の助力に關しては成行をみて改めて協議されることになつた

燒死體六百六十二 現場で引渡し

合同葬を行ひ靈を慰む

【安東國通】十五日午前に至つて更に燒跡より四個の燒死體を發見、現形を止めてゐるものは之で六百六十二となつた、同日午後五時半まで現場で死體引渡しを行ふが身許不明の者や判別のつかないものは納棺の上九道溝に安置し十六日午前九時から心當りの者に首實驗をさせることゝなつた、なほ其後本部では葬儀委員會を作り近く盛大な合同慰靈祭を行ひ犧牲者の靈を慰める筈

燒殘りの材木の下に 奇蹟的生存者

【安東國通】十五日午後滿洲舞臺の燒跡整理中燒殘りの材木の下敷となつて奇蹟的にも瀕死の息を續けてゐる滿人男女二名を發見したが、まる一晝夜火傷甚しく目下應急手當中である

林外相より安東へ見舞電

安東火災事件について林外務大臣は本日安東領事に對し深甚なる哀悼の意を安東省公署ならびに縣公署に通ぜられたき旨打電し來つた

安東慘事の善後處置 民政部協議

安東大慘事に對する民政部の善後處置については十六日午前十時半より本部に於て大津司長、武内總務科長等出席の下に協議會を開催
一、普濟會より見舞金三千圓

◇……安東滿洲舞台慘事の跡

治廢準備に伴ふ地方警政の整備協議

全滿警務科長會議第一日

全滿警務科長會議第一日は治外法權撤廢準備工作に伴ふ地方警察行政の整備を主眼として十六日午前十時より民政部會議室に於て開催、各地省公署より
神子奉天、萩原吉林、澤田龍江、三宅熱河、谷口濱江、大畑錦州、馬場安東、田中間島、久枝三江、小田黒河、田中首都、藤井哈爾濱、西岡海邊警察各警務科長、宇野滿洲里、大林海拉爾各警察廳長、來賓側關東軍北部少佐、大使館横山第二課長、關東憲兵隊司令部齋藤中佐、中央より民政部各司科長等
出席
警務司長の訓示、總務司長の致詞に次で警務司其他關係各科長より、各司指示、注意事項の説明があり、午前中の日程を終了、午後一時半より續行の筈

代谷恒子さん 滿鐵へ入院

病狀不明高熱續く

清和街慘劇事件の犧牲者代谷恒子さん(六才)は興安病院で療養中を四日から痲疹併發し發疹が化膿し、化膿が潰れて漸次枯れてゆくやうになつたが依然四十度近い高熱連續旬日以上に亘り衰弱甚しく病狀不明なので十五日午後滿鐵醫院に轉じ皮膚科(第七病棟)に入院した、何かの中毒らしいとのことで家人は憂慮につゝまれて居る

路上で捕はる

十四日午後九時頃財前刑事が三笠町一路上に於て擧動不審の支那人を誰何するや逃げ出したので追跡逮捕したが取調の結果金州生れ張榮俊(二十四)で一月十八日午後八時頃入舟町四新京ビル杉本某氏方に侵入オーバー、背廣、タキシード等を窃取せるほか大經路滿洲モータースから支那服その他、新發路帝都アパート鳥井某氏方からシュバー、背廣、男オーバー、女オーバー等を何れも家人の不在中を狙ひ窃取せる旨自白した、余罪ある見込で目下取調中である

我が血こそは純正 滿鐵社員血液檢査

毎日押すなくの盛況

既報、社員の性病特に黴毒患者の撲滅を計らんとして毎年血液檢査を施行してきた滿鐵は新京管下社員の本年度の檢査を新京保健所に十三日から實施しつゝあるが、血液の純正さを誇らうと若い滿鐵マンは日に五、六十名もおしかけ昨今の所内は常にもまして賑やかである、採血は二十日に終了してその結果は各人に極秘に通知されるが、總括的な成績も一般に公表せられる筈でその結果如何は頗る注目されてゐる

子を思ふ親

古関正男(二十六)は昨年九月郷里福島から來京し殘された親達は悲歎のうちに八方探したが行方知れず近頃になつて清和胡同服部某氏方、西五馬路位並某氏方に雇はれてゐたことあり後肺炎になつて却々の重症だと風の便に聞き手紙を出したが更に屆かないのか返事もないので一層心配を増し十六日新京署に事情を調べて貰ひたいと哀願して來た

ずるく消えた油と石鹸

特別市豐樂路二二五、森六商店は倉庫内に格納してあつた食用油類及石鹸類計二百八十三點、價格にして一千六百六十五圓餘を舊臘十二月中旬より一月下旬に亘る間に窃取されたるを發見、當局に屆出でたが、犯人は同店使用人の仕業ではないかと見られ目下搜査中である

横着な屋台店 許可證を持たず

近く新京署で一齊取締り

現在附屬地内に『やきとり』『支那そば』『今川燒』等を行商する屋台が百卅餘ありこれが許可證は一年毎に書き替へる規定になつて居り十二月これが書き替へを各業者に通達したに拘らず未だ二十余軒來たのみで他は何等の手續なく横着にも昨年のまゝで營業してゐるので新京署保安係では近く係員總出で午後八時頃から一齊檢査を行ひ無屆者は嚴重取締り營業の取消しもする意向である

電々に感謝狀

昨年十一月擧行の防空演習に際し警報の傳達及宣傳の爲め特別の施設をなしその功勞見るべきものがあつたと言ふ意味をもつて小笠原統監は二月十二日電々會社に對して左記の如き感謝狀を授與した

感謝狀
滿洲電信電話株式會社殿
右者昭和十一年度新京防空演習に際し警報の傳達及宣傳の爲特別の施設をなし又其の實施に方りても大いに盡瘁せられたるのみならず演習統監部業務遂行の爲多大の便宜を供與せられたる功勞に對し深甚なる感謝の意を表す
昭和十一年十一月十六日
新京防空演習統監
陸軍中將從四位勳二等 小笠原數夫

地方警察學校けふ入校式

元長通路警察署跡に移轉した地方警察學校本年度入校式は十六日午後四時から同校講堂

關屋敏子孃結婚

花婿は柳生但馬守の後裔

【東京國通】コロラチュア・ソプラノの第一人者關屋敏子さん(三四)が柳生但馬守の後裔柳生俊久子爵の令弟五郎氏(四一)と結婚することゝなつた、五郎氏は駒場出の農學士、帝室林野局勤務といふ歌の世界からはおよそ縁の遠さうな肩書つきであるが、同氏の熱烈なるプロポーズがあつて委子に來るならといふことで萬事OK、はれの結婚式は陽春四月の黄道吉日を選んで行はれる

にて擧行される

國語普及に漢文科の全廢

台灣文教局の英斷

學制改革と共に全國的に漢字廢止問題が話題となり國字統一に拍車をかけてゐるが、台灣總督府文教局では內地に魁けて島民の小學教育の根本的改革と共に國語に依る國民精神の涵養及德性の養成向上を目指して今春より漢文科廢止を斷行することとなり、負擔過重に惱む小學兒童の單一的改正の第一歩を踏み出すこととなり各方面から注目されてゐる
從來本島に於ては學校の尋常科および高等科の學科課目中漢文科は隨意科目として課せられてゐたのであるが、今回の改正は內台融和國民精神の徹底に甚大なる效果をもたらすものと一般に好評を博してゐる

中、小、商店戰線强化 敵はデパート

同業組合聯定欵の起草に着手

新京商店協會では十六日午後六時より記念公會堂に於て近く成立の運びとなる同業組合聯合會の定欵起草委員會を開催する事となつた、同聯合會成立の曉は附屬地商店の結束團結を一層强化するもので、其の目的とする今後のデパート對抗策が如何に講ぜられるや成行を注目せられてゐる

健全生活展覽會

滿鐵社員會では滿洲に於ける健全生活內容の改善を圖るため健全生活運動を提唱廿七日、二十八日兩日新京衣町消費組合に於て健全生活展覽會を催すこととなつた、同展覽會は「生活の自覺」「生活の明朗化」の二原則、生活の健康化、趣味化、理想化、經濟化、郷土化の五項目を目標とし、滿洲に於る健全生活實踐二十則を多季生活の一日に當てはめそれをスローガンとする二十畫面をパノラマ式に圖示しその下に各種の參考資料を展覽するものであるが同時に講演座談會、實地指導等も行ふ筈である

本年の夏こそ滿洲の札蘭屯へ

ビューロー打合せ終る

旅客輸送座談會に出席した田口ビューロー主任は十五日午後九時三十六分着列車で歸任したが語る
ビューロー、ハルビン案內所と本年度における旅客誘致に關して充分打合せて來たが、本年八月ごろには新京、ハルビン兩案內所の共同主催で滿洲の輕井澤として絶景避暑地札蘭屯、巴林探勝團を大々的に募集しハルビン、新京を中心に吉林、ハルビン方面からも募集することに打合せ決定した、その他本年のスケジュールに入つてゐるハルビン花火大會、第二松花江ピクニック團など當地からハルビン方面へゆく團體に對してもあらゆる運賃割引、その他あらゆる點に便宜を圖つてやるとの先方の申出でもあつたから斷然今年は大馬力をかけて旅行團を廣く募集したい

軍政部大臣賞を賜る 武內〇隊長

軍政部大臣賞を賜る殊勳の武內〇隊長武內中校はさきに曹國安匪を潰滅し軍政部大臣賞として金五千圓を賜つた赤澤部隊附將校として果斷な性格の反面情深い涙ある指揮官として全部隊將士に慕はれてゐる、士官學校第廿五期の卒業現役時代に張作霖爆死事件當時山海關守備隊長として勇名を馳せたことは世人の記に憶殘つてゐる

血腥き殺人 又復奉天に

【奉天國通】舊正明けの奉天に又復血なまぐさい殺人事件が發生した、十四日午後十一時頃鐵西双合棧方止宿洋車夫朱在資(三七)は就寢中何者かのため拳銃をもつて射殺された、屆出により奉天署では直ちに同人の知人王忠(四〇)を有力被疑者として引致取調中である

天網漏さず

京畿道生れ許六文(二十七)は永樂町一丁目川又商店に雇はれ中昨年十一月頃から店の綿二百貫約二百圓、鹿皮約八十圓を數回に亘り窃取しこれを他に賣却消費してゐた事を一月末店主に感付かれ逃走中であつたが十五日午後八時頃入船町二丁目で阿部刑事に逮捕された、

新京自動車會社披露宴

去る一日から營業を開始した新京自動車株式會社では十五日午後六時からヤマトホテルに各方面を招待披露の宴を張つた、デザートコースに入り同社々長首藤定氏會社設立の趣旨を述べ各重役を紹介、李交通部大臣來賓を代表して謝辭を述べ八時過ぎ散會した

外山中將

かつて北滿の戰野に活躍、第九師團長等を歷任した豫備陸軍中將外山豐造氏は十五日東京北澤の自邸で腦溢血のため逝去した、葬儀は十九日青山葬場で執行される

あす(十七日)

▲新京神社祈年祭、午前十一時
▲全滿警務科長會議、民政部
▲吉田小奈良一行公演第二日 公會堂

◎…今晩の主なる演藝放送…◎
▲八・〇〇義太夫「生寫朝顔日記」(東京)津賀太夫外▲八・四〇管絃樂(アメリカ紐育NBCより)ニューヨーク交響樂團▲一〇・〇〇小唄(奉天)笑千代外

長男毅儀豫而病氣之處療養不相叶二月十六日午前七時十五分死去致候間此段謹告仕候
追而二月十七日午後五時於曙町東本願寺告別式相營可申候
昭和十二年二月十六日
新京羽衣町三丁目二〇ノ二
父 中馬重宗
親戚代 中馬宗雄 寺澤兼三郎 瀧竹三郎
友人代 橋口勇九郎 永井麗造
西廣場區町內會長 松本忠勝 早川武夫

映畫と演藝

新人の拔擢旺ん!

今年は新人の當り年—春早々にして各社は新人拔擢或ひは發見に鵜の目鷹の目である、即ち新興の如きは副社長自ら出馬してスター探しに狂奔してゐるし、これに對し松竹大船、日活東西、果は全勝キネマまで參加し、明日のスター募集に鎬を削つてゐる、一方發見した新人は逸早くこれを起用し大いに賣出しに努めてをり、大船の新星佐野周二のごときは「新道」にデビューして以來「花籠の歌」「荒城の月」と矢繼ぎ早に主演作を發表して好評、新興大泉では新人丹羽一郎を拔擢して「女の行く道」をこのほど完成したほか大泉俳優學校卒業の蜂須賀輝之を「女よなぜ泣くか」に一躍大役で起用し、日活京都でも稻垣浩監督の新作「十人斬りの男」には新人を主役に登用すべく目下銓衡中である等々、各社が二月初めまでに入社せしめた新人は既に左のごとく多數に上つてをり、これら新人が近く募集によつて登場する新人とともに將來どこまで伸びてゆくかはみものである、各社別に摘錄すれば(括弧は舊所屬)

△新興キネマ　川上朱美(新派)蜂須賀輝之(大泉俳優學校)花布辰男、佐藤勇(日本俳優學校)大崎愛子
△松竹大船　市村讓治(ダンス)
△日活京都　北村年之助、天草平、大野主介(舞臺)
△日活多摩川　立花耕一路、室町幸子、星美千子
△下加茂　深道傳一郎、北川千鶴子、上田好子、井村光子、瀧川愛子
△マキノ　田丸重雄(監督脚本)

松竹映畫の陽春封切陣

▽「春の女性」川崎弘子、三宅邦子、上山草人、佐分利信、笠智衆、立花泰子、近衛敏明共演にて、早春を彩るロマンス篇、監督は深田修造、撮影渡邊健次
▽「その夜の秘密」大山健次、突貫小僧、近衛敏明、山内光、八雲理惠子、三宅邦子、大塚君代、南部耕作、小倉繁、立花泰子共演、監督宗本英男
▽「淑女は何を忘れたか」小津安二郎監督の明朗篇、主演は栗島すみ子、齋藤達雄、桑野通子、佐野周二、脚本伏見晁
▽「女醫絹代先生」田中絹代、佐分利信主演、監督野村浩將
▽「博多夜船」流行歌を主題とした情緒篇、德大寺伸、山内光、立花泰子、坪内美子、水島亮太郎、水島光代、河村黎吉、坂本武、飯田蝶子出演、宗本英男監督
▽「朱と綠」片岡鐵兵原作、島津保二郎監督による華麗絢爛なる近代映畫、主演は高杉早苗、上原謙、東日出子、高峰三枝子
▽「巷談松平長七郎」本郷秀雄主演、星哲六監督
▽「新婚お伊勢詣り」小笠原章二郎、忍節子主演、近藤勝彦監督、森尾鐵郎撮影
▽「情炎娘ごゝろ」北見禮子、志賀靖郎主演、古野英治監督
▽「丁半雪の夜話」高田浩吉主演、本郷秀雄、坪内美子、光川京子共演
▽「仁義一筋道」本郷秀雄主演、中村敏郎監督
▽「大阪夏の陣」衣笠貞之助監督、杉山公平撮影、林長二郎出演の松竹が誇る名コンビにて、堂々オールスターを網羅せる此の春の巨篇、主役は林長二郎、阪東好太郎、高田浩吉、阪東橘之助、藤野秀夫、山田五十鈴其の他全松竹總動員

右太衛門入社第一回作　大輔と組む

業界に一大波紋を投じて新興京都へ入社した市川右太衛門の入社第一回主演映畫は雜誌キングに連載せられた大衆的興味を漲つた大佛次郎氏快作を沈默久しき巨匠伊藤大輔が七年前の「一殺多生劍」以來のコムビを復活して自ら脚色監督になる異變黒手組と決定、特別出演には淺香新八郎、尾上榮五郎、月田一郎、山田五十鈴、大泉より毛利峰子並びに舟波邦之助、原聖四郎、寺島貢、松本泰輔の名バイプレヤーを網羅した陽春超大作にふさはしい顔振れを以て愈よ此程撮影着手を見るに至つた、之は江戸末期田沼權勢治下に於ける浪人群の絶望的な懊惱と焦燥を採り上げて大輔一流の冷徹な時代描寫が新入社の興篤夫の鋭いカメラワークに乘つて縱横無盡に展開される絶好的期待版

▽禁男の家△

佛SELF社、佛シネマ大賞候補にあげられた傑作で、ジャック・ドヴアルの脚色監督になる作品、主演者は「隊長ブーリバ」のダニエル・ダリユウをはじめ、ベッティ・ストックフェルド、ヴェランテーヌ・テッシュ、エーブ・フランシス等が主演、女ばかりのアパート「禁男の家」に住む色々な女の生活の断面を軟柔なタッチで描き上げた最近話題の作である、キャメラはマルク・フォッサール、裝置はリュシアン・アゲッタンが夫々擔任、歐劇、新京キネマ十七日封切、寫眞はその一場面

時も時、ファンクの「白雪地獄到着」

「新しき土」獨乙版の編輯を終つたファンク博士は、二月十二日横濱出帆で歸國の途に上つたが、これと時を同じくして、ファンクの代表的山岳映畫「白雪地獄」が、東和商事へ到着した、これは、彼の作品中でも、屈指の傑作として、一躍彼の名を高めた「死の銀嶺」の音響版で、名匠パブストが共同監督に當り、レニ・リーフェンシュタール、グスタフ・ディーセルを主演者とし、ピッツ・パリューの地獄の遭難を描いたものである、日本に於けるファンク全盛時代に、この名作が公開されるのは興味あることであらう

サボテン

此の前ダンスホールで一晩二圓で踊る法つて奴を公開致しましたが、今度は愈よダンスの奥傳二十錢で一時間ぶつ續けて踊る法と云ふ仙人掌流の極意、門外不出の秘法を傳授申さう▲午前一時に十分前頃颯爽とホールに姿を現はす、要するにラスト一回前に間に合へば良い譯です、見事ラストの光榮をキャッチすればもう占めたもの後二、三回はロハです、如何にダンサー厚顔でもまさかチケット呉れとは云わんでせう、もつと踊りたかつたら後はジャン〳〵アンコールをやれば良い譯だ▲ナーンダ仙人掌の極意だなんてそんな簡單な事……▲オッと待つた、下種の後智慧、コロンブスの古事を引用する迄もありますまい

雜音

帝都キネマ十七日よりの番組はメトロ、ジョン・クロフオードの「私の行狀記」に新興「緣結びの三五郎」「花なき春の唄」の三本立、派手な番組とは言へないが、ヴアンダイクの顔觸れが並んでゐるから今週も興味本位の組立てはあらう▼續いて下旬から三月にかけて例の二人組新作ローレル、ハーデイの「極樂双兒合戰」「ターザンの逆襲」「踊る海賊」「有頂天時代」等大ものが待機してゐるから陽春にかけてのこゝは亦旺んな賑やかさを誇ることであらう▼朝日座には近くメトロの二番線「影なき男」などが揭る、帝都の曾てのドル箱、再度意外なところに登場する、そも〳〵この土地でポーエル、ロイの名を賣つた佳作、魅力は豐富である

二月十七日　水曜　舊一月七日　乙亥　先勝　收　壁宿

●一白の人　今一意氣にて手先に觸れんとするが如き日　甲と乙と庚が吉
●二黒の人　十分に誠意を披瀝して地位向上を諜るべし　甲と庚と辛が吉
●三碧の人　足る事を識りて我慾のみに走らざるが吉し　甲と丁と辛が吉
●四綠の人　時は金なり寸陰を惜しみて奮闘すれば大吉　丙と庚と寅が吉
●五黃の人　靜止より發動に移るべき日病難失物等注意　甲と辛と寅が吉
●六白の人　行詰りを生じて展開の道なく苦み多き凶日　甲と西と壬が吉
●七赤の人　短氣は損氣とか出來上り近くして破れあり　庚と壬と癸が吉
●八白の人　既定の方針に向つて根氣よく進めば成功す　丙と庚と辛が吉
●九紫の人　意志堅固に元氣を内に畜へて勵めば終に吉　丙と庚と寅が吉

満洲のパルプ生産
制限を緩和か？
情勢變化に政府態度を改めん

曩に満洲國政府の許可を得たパルプ四社は制限數初年度各一萬キロトン次年度より一萬五千キロトンは業者の要望と甚だしく懸隔ありかつ採算上單位に達せざるものとして不満の意を表明對満洲國間に陰鬱な空氣を醸しつゝあり一部では許可取消を傳へられるなど異常な注目を惹いてゐたが

その後満洲國政府に於て日満兩國の對世界情勢が最近非常な變化をみて居りパルプ資源の自給自足は國家自衛上最も緊急問題となるに至り俄然政府側では從來の強硬態度を變更し業者側の意向に耳を藉すに至つたと傳へられ満洲國當局の増産許可傾向は著しく注目を惹いてゐる

工藝の進歩目指し
満洲工藝協會生る
—創立總會て各役員決定—

【大連國通】満洲における各種工藝技術の進歩向上を目的として生れた満洲工藝協會創立總會は十五日午後二時から大連商工會議所で開催、瓜谷會頭始め満鐵、市役所、技術協會、當業者參集協議を遂げ午後四時散會した、右總會に於ては役員選定並に會則審議が行はれたが、會長は瓜谷會頭が推され、幹事に長永商工會議所書記長が決定、其他武部満鐵理事が名譽會長に、御影池州長官、阪谷満鐵理事、貝瀬満洲技術協會會長、中山殖産課長、山口州廳殖産課長等の顧問推薦が決定した

土建協會て營業税問題の懇談會開催

土木建築協會新京支部では先に税捐問題に各關係者參集の上種々協議をなしたが、續いて來る十二日午後一時より主に營業税問題に就て全協會員はもとより新京税務署及び満洲國税捐局の關係者參集の上同協會樓上におて懇談會を開催するが、先回の税捐問題に就ての協議は非常に有益且つ參考になる所が多大であつたため今回は前回より以上の期待をかけられて居る

圖們驛の貨物取扱量増進す

【圖們國通】圖們における東北満物資輸送の動向を見るに今まで増加の一途を辿つてゐた圖佳線方面への發送及び輸入中繼は二、三ケ月前より漸減の歩調を辿り、これと反對にまで逐月萎縮を示してゐた京圖線方面への發送がグッと擡頭し來り二月も向ほこの狀勢を持續してゐる、これは圖佳沿線の物資吸收力が或程度の飽和狀態に入つたのと京圖線方面が今後も益々擴大する餘力あることを反映するもので、北鮮三港と京圖線の密接なる關係を物語るものとして頗る注目されてゐる、最近一ケ月間の圖們驛貨での物取扱量を見るに

		前年同期比較
發送	四、二〇〇噸	二、〇〇〇噸増
到着	三、〇〇〇噸	一〇〇〇噸増

で前月と對比すると出入とも若干減額を示してゐるがへつて圖們經由の輸入についてみると歐洲向け大豆輸出は激増し北鮮港に搬出されたるものは一月中に十一萬六千七百キロトンに達し、前年同期に比し一六、八%の激増であり、圖們驛の取扱總量は實に十六萬四百キロトン、前年同期に比し七萬七千キロトンの飛躍的増進を示し前途洋々たる期待がかけられてゐる

北鮮線均等特別運賃制
四月より實施

【奉天國通】總局では全満鐵道の一元化の見地より現在鮮鐵運賃率を採用してゐる北鮮線運賃を國線運賃に改正統一すべく鮮鐵當局と折衝中であるが、既に原則的には決定をみてをり、遲くも四月の新年度より實施せられるものとみられる、而して國線運賃採用に對する朝鮮側の難點となる北鮮ローカルならびに連絡近距離運賃の値下りに對しては總局としては特定運賃を制定これを緩和する方針であるが北鮮線の國線運賃採用により北鮮經由特産長距離輸送ならびに輸出入貨物輸送は非常に低廉便利となるわけで、その早急實施は各方面より期待されてゐる

運賃基本粁程
上三峰—清津間距離に決定

【奉天國通】總局では北鮮線の國線運賃採用とゝもに懸案となつてゐた羅津、雄基、清津三港の均衡ある繁榮を目標とする北鮮三港均等特別運賃を實施すべく調査研究中であるが、右均等運賃基本粁程を最短粁程たる上三峰—清津間の四十粁に置くことに大體決定をみるに至つた、この三港均等運賃實施にともない北鮮貨物は均等に三港に分配され羅津は主として特産輸出港、雄基は木材輸出港、清津港は一般物資の呑吐港として各港獨立の立場より完全なる發展を助長をするものと期待されてゐる

三姓の油頁岩調査
満鐵で續行す

【大連國通】三江省三姓附近に埋藏されるオイルシエールの原料油母頁岩の調査は十二年度に引續き満鐵において行ふことゝなり、満鐵では十五日佐藤、阪谷、中西三理事、大岩產業部工業課長等出席の上、右調査に關する打合會を開催して、右事業の進捗を圖ることゝなつた

一月末の新京土建勞銀

満洲土建協會新京支部調査の一月末に於ける新京市内土建勞銀は左の如し

	日本人並	満洲人並
高人夫	三、五〇	一、三五
並人夫	二、五〇	八五
土工	三、〇〇	八五
石工	四、二五	二、七五
煉瓦工	四、〇〇	一、六〇
鍛冶工	四、二五	二、〇〇
左官工	四、五〇	二、〇〇
ペンキ工	四、五〇	二、一五
木挽工	—	二、〇〇
木工	三、五五	二、〇〇
指物職	三、七五	二、〇〇
疊職	三、七五	二、〇〇
建具職	四、三五	二、〇〇
經師職	四、二五	二、〇〇
屋根職	三、五〇	二、〇〇
鉄力職	三、七五	二、〇〇
鋳金職	三、七五	二、〇〇
硝子工	四、二五	二、〇〇
馬車一頭曳		二、五〇
右同二頭曳		三、一五
トラック苦力三人付	三七、五〇	

農業信用組合座談會

満洲農業信用組合主催の座談會は十六日午後一時から新京ヤマトホテルで開催、四平街以北各組合代表者二十餘名が出席する筈である

土建ニュース

決定工事

●満鐵新京事務局 ▲新京羽衣町一九號ノ一社宅外一三戸襖貼替工事 隨特 七百二十六圓三十四錢也 大室謙吾

●奉天地方事務所 ▲奉天獸疫研究所牛疫舍屋外廁筒改築工事 落札 百二十二圓 森上工務所 （二）一三五・〇〇 今井商會

●大連鐵道事務所 ▲大連埠頭二一號倉庫岸壁クレーン運轉室間切壁増設工事 特命 百十一圓五十四錢 藤元機械製作所

●大石橋地方事務所 ▲大石橋石橋大街五號外二十八棟扉増築取替工事 落札 千六百五圓六十錢 高田仁三郎 （二）一、七九三・五〇 草場組

▲大石橋醇正寮丙部ペンキ塗替工事 特命 三百八十五圓七十三錢 高田仁三郎

▲大石橋宣武街一一號外四五戸疊替工事 特命 三百三十圓四十八錢 八戸野

●新京保線區 ▲新京ヤマトホテル廊下リノリーム張替工事 隨特 百四圓四十錢 上木組

満洲に於ける中小商工業金融問題について一論者は指摘する▲興銀の場合、民間銀行の經營合理化のための合併などのそれと異り、國家的見地に立つて政策的な金融對策を實行するものであるといふことが一般に理解されなかつた、と▲一方銀行には、社會政策的立場を一層充分に認識し、過去の營利機關的舊習或ひは見解をもつ金融業者的態度を清算し、一行による獨占的弊風乃至官僚的劃一主義に墮することを避けよとの註文である▲これは理想論であるとしてもそれに近付く努力はされていい

尨大豫算の前途
▽……問題は税制の改革

時代が移ると共に、政變と云ふ抽象的な事柄が内包する意義も、何時の間にか變化を遂げてゐる。二・二六事件直後の政變は、つまるところ、健全財政主義より膨脹財政主義への

飛躍 をその内容とするものであつた。言葉を換へて云へば「國策政變」とでも云ふべきものであらうこれに對して、今回の政變は「思想政變」であるところにその歴史的價値を有してゐる新内閣成立直後、議會が解散される危險性は否定出來ない勿論、解散阻止運動が起り得る可能性はある。だが、解散に向つてゐる大勢を轉回することは殆んど不可能に近い、「思想政變」の歸結が、解散に基く議會構成員の思想的洗禮に在るからである。若しも議會が

解散 せられるとすれば三十日以内に總選擧を行はねばならぬ。その日は勅令で以て決定せられる。たゞ勅令は總選擧の二十五日以前に公布せられることになつてゐるから、解散より總選擧までには、最少限度二十五日を必要とす。また、議會召集の勅諭は、議會開會の四十日以前に發布せられねばならないから、臨時議會の開會までには少くとも七、八十日を要する勘定になる。新會計年度の開始期四月一日までには如何にしても議會は開會の運びには至らない、自から豫算は前年度豫算踏襲となり、實行豫算が編成せられねばならぬ、だから

膨脹 財政は一應形式上では姿を沒することになる。しかし、それはどこまでも形式上のことに過ぎない。十二年歳出豫算三十億四千萬圓は地方財政調整交附金二億二千萬圓を控除する二十八億二千萬圓になる。前年度の二十三億一千萬圓に比較して五億一千萬圓の膨脹である。この五億圓の追加豫算を編成するに際して、歳入が如何にして得られるかが、當面の問題となる。

税制改革案が通過し難いものとすれば、結局のところ、關税改正による増收三千八百萬圓、自然増收六千萬圓、煙草賣上げによる増收二千五百萬圓、各種特別會計よりの繰入増七千百萬圓、合計一億九千四百萬圓のみが

追加 豫算の財源として期待し得るに過ぎない。差引三億圓程度の公債増發は必至の狀態になる。即ち、十二年度の一般會計公債發行額は、完全に十億圓を突破するであらう。しかしながら以上は税制改革案が臨時議會に提出せられざる場合の話である、十二年度の尨大豫算は、確か、税制改革案と不可分のものであつた筈である、たとへ全體としては

成立 しないにしても、或は税制改革案の一部が分離されて成立するとか、或はまた、便宜上、臨時税の如きものが成立する可能性は充分にある。輿論も漸次この邊に傾きつゝある。

商況欄
（二月十六日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二〇片八分一
同先物	二〇片八分一
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	五〇留比四分一
米英爲替	四弗八仙二分一
米日爲替	二八弗五七仙
米支爲替	二九弗八〇仙
スチール株	一〇六弗八分五
アナゴンダ株	五五弗二分一
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片八分五
日印爲替	休會

▲米棉

限月	相場
現物	一三仙一五
三月限	一二仙六五
五月限	一二仙五〇
七月限	一二仙三三
十月限	一一仙九一
十二月限	一一仙八五
一月限	一一仙八四

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二三三留比
オームラ	二〇五留比
ベンゴール	一七八留比

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	一弗三七仙四分一
七月限	一弗一九仙四分一
九月限	一弗一四仙八分七

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青筋	休會
鐵筋	休會

金銀市況

●上海標金 本寄 一二三五・五 歩 —

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 買 一〇〇四、一〇〇 第二回 賣 買 一〇〇四、二五

▲倫敦向 第一回 賣 買 一志二片三二分一 第二回 賣 買 —

▲紐育向 第一回 賣 買 二九弗一六分二 第二回 賣 買 —

▲大連爲替 ▲上海向 一〇九、五〇

▲阪神日米爲替 第一回 二八弗八五分一

▲阪神日英爲替 第二回 一志二片一六分三

各地株式市況

▲東京株式（短期） ▲大阪株式（短期） ▲大連株式（短期） ▲奉天株式（短期）

[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸 ▲大阪棉花 ▲大阪人絹

[illegible]

新京取引所市況

各地特産市況

（二月十六日前場）（一石値段）

[illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

引退騷ぎで議場動搖の色

太田君皮切りに開く 衆議院本會議第二日 財政計畫で藏相と論戰

【東京國通】第二日の衆議院本會議は政友會お家騷動の餘波を受けて定刻を遲れる事半時間、十六日午後一時二十五分開會、國務大臣の演說に對する質疑を繼續

太田正孝君(政友)登壇 國防財政なる言葉は稍々もすれば財政そのものが戰爭を準備するが如く思はれ外交を無用とするやうにとれるが如何?

一、政府は物價騰貴抑制のため豫算を修正したが、地方交附金の減額が物價を低落せしめるや、繰越を豫想しての豫算をそのまゝとしておくことは不可であり、かつ憲法違反である

一、國防費の增大と公債の增加とに對應して生活安定費の縮少して行く實情に對し如何なる財政計畫を有するか

一、金融について豫算上の資本以外民間產業資金、對滿資金につき計畫ありや、滿鐵の政府拂込金を減額せる理由如何

結城藏相 軍事費と國民生活安定費との均衡は深く憂慮するところである、地方農村の窮乏打開の爲には負債整理が最も肝要と考へてゐる、從つて交附金制度については今暫く考究の餘地を與へて貰ひたい、將來の財政見透しについては十五日も申上げたやうに見透しはつかぬ、これは現在の社會がしからしめるところでやむを得ない

とて高橋藏相時代と馬場藏相時代との比較を試み

自分は兩氏の財政方針の中間をゆく考へである、出來るか出來ぬかしれないが

と甚だ懷疑的な見解を述べれば笑聲と拍手とが議場に半ばする、太田君登壇して都市と農村との負擔不均衡について述べ、增稅についても不滿を表明する

產業政策を取上げ 宮澤(民政)君長口舌

代つて 宮澤胤勇君(民政)登壇、產業、中小商工業政策について政府の所見を質し

一、我が國際收支は本年度以降支拂超過の傾向をたどるべき情勢にあるが、政府は如何なる方法によつて國際收支の實體を統制し、これを調節せんとするか、また爲替の對策として爲替平衡資金制度の確立をなす意思がありや

一、滿投資の必要を力說したのち、物資の供給を潤澤ならしめ物價騰貴に備へるため生產力の增大をはかるといふが、如何なる方面に如何なる順序をもつて行はんとするか

一、我が國工業製品の大部分を產する中小商工業者に對する方策如何

とて微に入り細を穿ち國民經濟全般にわたる長口舌を終り

結城藏相 答辯に起つ

低金利は前內閣同樣これを持續してゆきたいと考へてゐる、低金利の逆轉による惡影響は各方面と協力して極力防止する考へである

ついで 伍堂商相、山崎農相より所管事項につきそれぞれ答辯あり

林首相

一、對滿投資については必要あればどしどし活動を促す方針である

一、國民生活安定については御同樣最も關心を有するところである

宮澤君再登壇し

たゞ同感であるといふのでは如何なる案をもつてゐるのかわからない、そんなことでは議會の審議は進められぬ

結城藏相 一つの方法は考へてゐるが、こゝでお話するまでには至つてゐないといふのである

この頃より政友會席は幹部はじめ席をはずすもの多くガラあきとなる、宮澤君續いて對

ついで 宮脇長吉君(政友)

國防費、肅軍ならびに軍人の政治干與問題について政府に質す、これに對し 米內海相

"肅軍に努力期す" 宮脇君に海、陸相答ふ

一、不脅威不侵略の下に東亞安定のため努力して居る、その內容ならびに豫算に對してはこの席では述べないが、他國と軍備競爭をしたり世界に於る最大の海軍國と同等の力を持たう等と考へたことはない

一、肅軍の問題については今日まで御聖旨を奉體して遺憾なきを期してゐるが將來益々努力する

と力强く述べれば、滿場拍手の嵐が起る、次いで

杉山陸相 登壇、昂奮に面を輝かせつゝ

一、國防費については十二年度豫算にのせてある如くである、詳細の數字は軍備に關することであるからこゝでは申述べられない

一、肅軍については私から申述べるまでもなく前大臣時代よりこの目的に向つて熱心に努力してゐる、しかし今日尙はこれが完成してゐるとは考へてゐないし今後努力しやうと考へてゐる

一、二・二六事件に對しては軍そのものが自戒して居るが、事件勃發の原因がどこにあるかと言へば國民が互に相戒むべき點が多くありと考へる

一、政治干與については一般軍人の政治干與は嚴に戒めるところで、これは前大臣時代より謂はれたことである、しかし國務大臣の一人として輔弼の責にある以上國務に關し意見を述べることは私の本分なりと考へ、これが國務に忠實なる所以なりと考へる

林首相 軍人の職責上政治に干與することが出來ないのは當然だが、その職責にあるものゝ干與するは當然と考へる

宮脇君再登壇 海相、陸相の答辯は滿足であるが、弊風矯正のため一層の努力を拂つてもらひたい、外相に對しては國防を基調とした外交の確立を必要と考へるが如何、御答辯を望む

林首相 殊更ことを構へるやうなことはせず協調してやつてゆきたいと考へてゐる

肅軍問題をめぐつてあはやと思はれた議場も軍部兩大臣の答辯よろしきを得て危機を切りぬけ、宮脇君の質問終る

郵便料金改正 法律案要綱議會提出

【東京國通】政府は十六日午後零時半から院內に閣議を開き、郵便法中改正法律案の議會提出に關し決定、衆議院に提出の手續きをとつたがその要綱はつぎの如くである

郵便料金の改正

現在の郵便料金は明治廿二年乃至同卅二年の間に制定せられ其後四十年を經過した、この間物價、勞銀の昂騰、各種料金の數次に亘る引上に拘らず何等これに觸れることなくして今日に至つたのであるがその間わが國運の興隆は極めて著しいものがある、しかも產業經濟上重要なる使命を有するわが郵便事業實施はこれに伴はず社會の要望に添はない處が甚だ多いのであつて、これが改正は急務とする所である、然るにわが國の現狀は通信特別會計から一般會計に多額の納附金をなさねばならぬ狀況にあるので、やむなく郵便料金の値上を行ひその收入をもつて事業の擴張を行ひ出來得るかぎり眞に社會の希望する活潑なる施設をなし、もつて時運に添はんとするものである

料金改正の內容はつぎの通りである

一、第一種書狀―重量廿瓦又はその端數每に四錢

一、第二種郵便葉書―通常葉書は二錢、往復葉書四錢、封緘葉書四錢

一、第三種―每月一回以上刊行する定期刊行物は重量六十瓦又はその端數每に五厘

一、第四種―印刷物、業務用書類、寫眞、書畫、商品見本および雛形、博物館標本は重量百廿瓦又はその端數每に三錢

一、第五種―農產物種子重量百廿瓦又は其端數每に一錢

一、滿洲國政府發行の郵便切手類の保護 從來の規定によれば外國政府の發行する郵便切手類の保護は萬國郵便聯盟條約に加入する國の發行するものに限られ、從つて滿洲國政府發行のものはこの範圍內にあつたが、今回これを右條約に加入すると否とに拘らず總て外國政府發行にかゝるものを保護せんとするに改めるものである

料金値上による增收 一千五百餘萬圓

【東京國通】郵便料金の値上げに伴ふ郵便法中改正法律案は十六日の院內閣議で決定し正式に議會に提出することになつたので、直ちに遞信省から發表されたが、この郵便料金の値上げは來る四月一日から實施されるもので本案による增收額は一千五百二十萬圓でこの增收は主として從業員の待遇改善をはじめとし通信機關の擴張、現業制度の改善、遞送集配の改正、全國速達の通信開設、郵便航空路開設等の通信事業の改善整備に充てられることになつてゐる

鈴木政友總裁の辭任 議會後まで延期

【東京國通】政友會の顧問、總務聯合協議會は十六日午前十時より芝三緣亭に開會、安藤幹事長より鈴木總裁が辭意を表明した顚末につき報告、之が善後策につき協議した結果、鈴木總裁の辭任は已むを得ないといふ勇退容認に意見の一致をみたので、これが善後措置を總務に一任することゝして同十一時散會、ついで直ちに總務會を開き善後策を協議した結果、善後措置については黨將來の重大問題であるから愼重に研究する必要があると同時に目下議會開會中であるから總裁には善後措置決定まで暫く辭意決行の御待ちを願ふといふことに決定した、よつて鈴木總裁辭任善後措置は結局議會後正式に決定することになるものとみられる【寫眞は鈴木總裁】

"政治家に變りなし" 鈴木總裁談

【東京國通】政友會總裁辭任を決定した鈴木喜三郎氏は、十六日九段の自邸において左の如く語つた

體の具合は足が幾分不自由なだけ別に引退すべきほどのことはないが、何分總裁としての職責を完全に儘し得ないといふのでやむなく決意したわけだ、しかし總裁は辭めても政治家として國家のため努力することは生きてゐるかぎり何等變りはない

黨籍離脫問題携げ 官僚獨善を攻擊 濱野(民政)君政府に迫る

續いて 濱野徹太郎君(民政)登壇、林內閣をめぐる政情不安と政黨員の黨籍離脫を携げて首相ならびに軍部大臣に突擊を試みる

一、宇垣大將が何等の政綱政策を示さゞるにこれを排擊し、林大將も軍部大臣の入閣にのみ專念した理由如何

一、軍部大臣を現役大、中將に限るといふ制度に改正したる理由如何

一、宇垣內閣を流產せしめたる理由如何

一、政黨員の入閣拒否理由如何

一、閣僚が九名の小數であるのは行政機構改革の前提かまたは首相が一人で數相大臣を兼ねてファッショを眞似るのか

一、軍は時勢に適せる改革をなすといつてゐるが世人が然らずと認めたならば如何

ついで官僚獨善政治の排擊に移り官僚政治は必然的に言論抑壓を伴ふとて宇垣大將組閣當時林中將の聲明を禁止せる事實をあげ、官僚攻擊に舌鋒を一轉して人權蹂躪問題におよび政府に迫つて長口舌を終る

杉山陸相

一、宇垣大將の組閣に當り軍人がこれに參畫して妨害したといふがそれは誤解である

一、宇垣大將の組閣に當り三長官は候補者を選定したが候補者はいづれもこれを辭退した

一、軍部大臣を現役の大、中將に限つた理由は日進月步の現狀に於ては軍の內情をよく知つてることが必要である、在鄉の將官ではこの軍を統制するに不便と考へる、又軍部大臣は軍令に關する事項をも管掌してゐるから現役でないと都合が惡いと考へて改正した

河原田內相 言論尊重は申すまでもないが官僚の仕事は一意君國に報ずる觀念のもとに活動してゐる、これが官僚の獨善化を防ぐ道なりと考へる

獨善的傾向に注意 獨特の立憲政治へ(首相答辯)

鹽野法相 人權蹂躪は遺憾であるが、斯樣な不祥事の起らぬやう萬全の策を講じてゐる

梅津陸軍次官 鹽野君の御演說のうちに私が林首相を訪問して政黨員の入閣拒否と政黨排擊を進言したと言はれたが、斯樣なことは事實無根で曾て考へたことはなかつたことを明言する

林首相

一、政黨排擊については梅津次官のたゞ今申上げた通りである

一、兼任の多いのはファッショを眞似たのではない、他に理由がある

一、萬邦無比の帝國憲法を尊重して獨特の立憲政治をやつてゆくべきものと考へる

一、官僚獨善主義にならないやう注意してやつて行きたい

岡田副議長、議員三井德寶君(政)より議員辭職の願ひ出がある故その理由を朗讀せしめるを諮り、三井君の一身上の理由により議員を辭する旨滿場異議なく承認、ついで岡田副議長、宮脇長吉君の演說中記事掲載禁止事項に觸れる箇所ある旨政府より通告があつた故もし調査の結果、あれば速記錄よりこれを除く旨を述べ午後六時廿六分散會した

前田司令官 軍司令官招宴へ

新任挨拶の爲め來京した前田旅順要港部司令官は十六日午後六時軍司令官官邸に於ける植田軍司令官の招宴に臨んだ、前列中央植田軍司令官×印前田司令官

貴族院本會議

【東京國通】十六日の貴族院本會議は午前十時十二分振鈴、諸般の報告後十七分開會、直ちに日程に入り近衛議長通告順により小久保喜七君をさし招き

小久保君(交友)登壇 小久保喜七君は一昨年來の府縣會議員選擧ならびに昨年の衆議院議員選擧における人權蹂躪拷問事件に關し各縣における實例をあげ、拷問行爲の根絕と警察官の[illegible]を要望して降壇すれば、珍らしく拍手起る

河原田內相 現代においてかゝる拷問事件が頻發せるは遺憾である、政府としては將來かゝる不祥事の根絕を期する心算である

ついで財政問題を提げて

菅原通敬君 登壇、新豫算およびこれに伴ふ增稅につき得意の調子をもつて繰りひろげ、結城財政に一應の批判を加へたが、これ亦御上品な貴族院式の通り一片の質問に過ぎなかつた、かくて質問戰の舞臺は午後の衆議院本會議に移つた

けふの衆議院

【東京國通】十七日の衆議院日程左の如し

午前十時最初の豫算總會を開き民政黨の勝正憲氏、政友會の[illegible]喜六氏の財政通が一問一答の形式で豫算案及び增稅問題を中心に財政經濟の各部門について質問の矢を放ち、午後一時本會議を開き國務大臣に對する質疑を續行、政友會の松村光三、昭和會の守屋榮夫、社大黨の川下丈太郎、第二控室の尾崎行雄、國同の鈴木正吾、東方會の中野正剛諸氏の順で質問が行はれる

三中全會 第一次會議

【南京國通】三中全會第一次會議は汪精衞氏以下中央委員百數十名列席し十六日午前九時より擧行、大會主席團の決定せる提案審查委員會各組人名の發表、黨政機關の黨務政治報告等が行はれ、會場附近は交通遮斷され、ものものしい警戒振りであつたが會議內容は午後中央通信を通じて發表されることゝなつた、なほ各組審查委員會は十六日午後それぞれ開會し一切の提案を嚴重審查したが十七日午前の第二次會議においては右審查を通過した提案が正式に上程討論される筈である

偶語

滿洲の冬空一面を眞黑く覆ふてゐる煤煙は▼結核患者をふやし、植物を枯らし、經濟的に莫大なる損害を及ぼしてゐるが▼一般的にはあまりにピンと頭にひびかぬと見へて一向防止方法を講じやうともせず▼相變らずの出つ放しに遂に沈默を破つた關東局は〃煤煙防止規則〃を公布二十日から施行することゝなつた▼同防止規則は現在內地で施行されてゐる規則とは趣を異にし▼施行區域を指定せず全管下に適用されるほか▼一般家庭の檢查も隨時に行ひ得るといふ最も現地に即した條項が盛られてゐる▼一方緒から働きかけてゐる防止委員會の活動と兩々相俟つて▼從來の惡弊が矯正され被害が漸次除去されてゆくことはまことに喜ばしき限りである▼首都警察自慢の專用電話がいよいよ開通した▼スワ事件と云へば釦一つで直ちに管下の全警察署、派出所に同時に手配が出來るといふから凄い▼法權撤廢を前に首都警察廳の充實されることは非常に心强さを與へるが▼ちよいちよい耳にはさむ兩機關の間のある蟠まりに心を暗くさせられる

社説

財政經濟問題の論議
―議會に示された時勢―

一

再開議會第一日の收穫としては、財政經濟に關する問題が最も注目される內容を有したものであつたと思はれる。先づ結城藏相の演說中に、幾つかの注意さるべき點が存した。「刻下內外の諸情勢より見る時は國是の貫徹に必須なる國防軍備を充實するの要緊切なるものあるはいふをまたぬところである、この見地より產業の發達、貿易の伸展をはかるは我が國刻下の急務である」と述べられた部分は、現下の最高命題たるところを表現したものとして銘記さるべきであらう。そしてこの言葉の直後に「國民生活の安定をはかることも亦頗る緊要なるを痛感する」と言はれてゐることも見逃すべきでない。

二

豫算と物價の問題について「最近に於けるわが國の物價の騰勢に關しては思惑による假需要がこれに拍車をかけつつあることは勿論であるが、急激な豫算の增加がその原因をなせることもまた否むべからざるところである故に政府は極力歲出の膨脹を防止すべく努力した」と言ひ、且つ物價對策として寧ろ根本對策を考究する必要があるとしてゐる。また滿洲國との關係につき「わが國の資本並びに技術により滿洲國資源を開發することは兩國共存共榮の實をあぐる所以と信ずるのであつて政府としてはこの方面の努力を惜しまない」と述べてゐるところは、われわれとして特に記憶して置きたい。

三

川崎克氏の、この日の論旨は國防と經濟との關係に突き込んだものであつた。「國防は財政の基礎の上に立つたのでなくては安全性がなく、產業の基礎の上に立つたのでなくては近代戰に對する將來性を保證出來なくなる、今こそ國防をわが經濟力の上に正しく据ゑるべき時である」―これはひろく同感されるところであらう。川崎氏はついで統制ある計畫經濟を提唱、大陸政策の問題等にも觸れてゐる。この後に藏相が「財政の前途について率直に言へば見透しはつかない」とはつきり言つてゐることは事態の緊迫性をあらはす言葉として注目される。「軍備擴充は眞に已むを得ないものと思ふ、國防は國家の楯であるから軍部と合體協力して時患克服に進むべきものと思ふ」これは現在絕對的に要求されてゐるところである。この點について杉山陸相が「議員諸君は國防の必要について認識を改めて貰ひたい」と述べたのも注目される。政黨、外交についての論議もあつたが、財政經濟の問題が最も力點を置かれて取扱はれたことに現在の時勢の特質が知られると思ふ。

日銀條令の一部 近く改正されん
產業金融範圍擴大の爲

【東京國通】結城藏相は生產力の擴大强化に照應し日銀をして積極的に產業金融援助に乘出さしめる事とし、取敢へず日銀條令中產業金融に關する範圍に改正をなすことゝなり、改正案を今議會に提出することに決定したが、これが改正點は同條令中第十一條および第十二條の業務規定であつて同規定により日銀は特殊の場合を除き公債以外の債券株式等の擔保貸しを行はず、全く商業金融機關に極限されてゐるので業務規定內にこれ等の擔保貸しを認め當面の問題たる產業資金の供給を促進するため興業債券擔保による貸付を圓滑ならしめるやう同債券の優遇をはかることになつた

興業金融への進出のため
―池田總裁語る―

【東京國通】池田日銀總裁は貴族院における日銀條令改正に關する結城藏相の答辯に關し左の如く語つた

日銀の現制度を改革するといふのは日銀の營業方針に關する問題で、日銀條令第十一條および第十二條を改正して從來日銀の機能が商業金融の範圍に閉ぢこめられてゐたのを興業金融まで擴大し、日銀をして廣く產業資本を援助せしめるといふことであらう、しかしてその場合には日銀の見返り擔保の範圍の擴張を行つて株式や社債を擔保とするを容易にするといふ事になるのであらう、就中興銀が日銀と最も關係が深いので興業債券を日銀が優遇することによつて興銀の貸付資金の獲得を促進せしめるといふことが最も實現性が多いのではないかと思はれる、日銀制度の改革は次の議會といふことになると一年間も實施がおくれることになるのだから今議會に提出し承認を求めることになると思ふ

アルミカルテル 値上を斷行

【東京國通】各國軍擴競爭の激化により軍需資材たるアルミニユームの需要は急激に增加したゝめ國際カルテル・アルミニユーム・ユニオンでは十五日噸當り十一圓二十錢と五十錢引上げに決定し即日實施したなほ內地生產會社は舊臘建値一千七百五十圓を千八百五十圓に引上げたので、ユニオンの値上げに追隨して直ちに建値の再値上げは行はぬ模樣である

ダンチツヒ問題解決に ゲ空相ワルソー訪問

【ワルソー十四日發國通】ドイツ空相ゲーリング將軍はポーランドの首都ワルソーを訪問することゝなつたが、傳へられるところによると、ゲーリング空相はヒトラー總統の指令をうけダンチツヒ自由市問題について最後的解決をはかり、さらにポーランド廻廊を回收するためポーランド政府に對し思ひ切つた提案をなすといはれるが、ポーランド政府はゲーリング空相滯在中の日程を一切秘密にしてゐる

意見の交換を遂げるためといはれるから獨ソ關係の緊迫しつゝある折柄その結果は注目されてゐる

各軍西安集結 政情恢復す

最近の西安方面の情況は中央軍は最近咸陽到着、顧祝同軍は十日早朝西安に到着、張學良軍の各將領は各新駐屯地から西安に向け出發したと報ぜらる、また于學忠は顧祝同と會見終り飛行機にて甘肅に歸來した、西安城內の狀況は從前通り恢復し各會は中央軍の入城歡迎の準備中であり、中央軍後衛は近く執務開始を行ふはずであり、隴海鐵道は全通した

政府の搾取に 農民、穀物 不賣運動

最近東部シベリヤイワクルスキー區コロホーズの大部分は穀物不賣運動を起しつゝあり、これに關して區の行政機關並らびに機關紙（コンムナ）もこれを默認しつゝあるのみならず、農民運動に贊成し全區を擧げて反政府的色彩を濃厚に表はしつゝあるが、この原因は不明なるも大體政府の極端な農民搾取並らびにトロツキースト彈壓に對する黨員の反抗とみられてゐる

ソ聯邦の動搖 上海出先機關に影響

上海から靑島方面への露字紙は此の數日間故なく配達されないでゐるが、これは珍らしい現象であり、當地在住露人の觀測によれば、本國に大動亂あり（スターリン、ウオロシロフ、ブリユツヘル間の事件を指す）それが出先機關に波及しつゝあるものとみられてゐる

廿日から全國一齊に 國防講演會開催
―陸軍記念日記念事業―

【東京國通】陸軍では三月十日の陸軍記念日の記念事業として來る廿日から全國一齊に國防講演會を開催するに決し目下陸軍省でこれが具體的準備を進めてゐるが、從來よりもその內容規模において企劃的大がゝりなもので、各地師團司令部が中心となつて主催し、講演の範圍も遠隔僻地の農村まで講演隊を派遣する計畫で鄕軍のみでなく廣く一般市民、農村の中堅層に呼びかけやうとするもので、その講演內容も國際情勢の危機、列强の軍備として國防充實計畫に基く本格的國防の必要、更に廣義國防の見地から何故に軍は庶政一新の斷行を要望するか、軍の懷く革新方向の重點は何かを解說的に說明し、軍の動向に對する國民の全幅的理解を深め國防計畫に對する國民の一層の協力を望もうといふのである

赤軍參謀總長 三小國首都訪問

【モスクワ十四日發國通】赤軍參謀總長アレクサンダー・イリツヒ・イエゴーロフ元帥は十四日モスクワ發リトアニアの首府クラカウに向つた、同元帥はリトアニア獨立記念式典に出席の後ラトヴイア國首府リガ及びエストニア國首都タリンを歷訪する豫定だが同元帥のバルチツク三小國首府訪問は右三國參謀總長の招請により軍事問題につき重要

滿鐵辭令

十五日附滿鐵辭令左の如し

齊々哈爾鐵路局經理處長 哈爾濱鐵路局經理處長を命ず 參事 木村一惠

齊々哈爾鐵路局經理處長を命ず 經理部 參事 小池經策

哈爾濱鐵路局經理處長 參事 小住勳 鐵道總局勤務を命ず 尙は小住氏は海外出張を命ぜられる筈

日ビ協定成立 諒解事項につき署名

【東京國通】日ビ交涉は十三日の第七回會談に於てビルマ側が日本側の妥協案を承認したる旨、米澤代表より十五日外務省に公電が到着した、これにより同會商は去る十二月初旬開始以來二ヶ月餘にて事實上協定成立を見たが、協定內容は近く續開される日印會商の協定成立と同時に發表し差當り單に諒解事項につき双方代表者の署名にとゞめる段取りである、しかして綿布の種別は生地晒捺染及びその他色物となし右品種別割當は大體一九三四年四月以降一ヶ年間の實績に基くので捺染の割當は最高總量四千二百萬ヤードの四割五分乃至五割見當で品種別間の融通は現行日印協定によるものと同一である

新しき土に奏る 保甲員建設の唄
警備幹線道路 春と共に竣成

特殊な事情下にある滿洲國の治安及び社會事業に隱れて多大の功績を擧げつゝある自治體保甲制度に基く保甲員の活躍は過般行はれた保甲分團の廢合改革並びに首都警察の實施された多期特別工作等によつて愈々その特殊使命に向つて組織的、實質的な活動體として

屬望

されつゝあるが就中同保甲員が畢生の大事業として偉大な足跡を殘しつゝある康德元年度以來の繼續事業、長春縣下の幹線警備用道路の築造こそは不撓不屈、社會奉仕の尊い成果としていよ〳〵本年度をもつて完成することになつた、即ち幅員四十八尺に及ぶ長春縣下警備用幹線道路は新京を中心として雙城堡、長嶺、懷德、公主嶺、双陽、九台、德惠、農安の八線を數へ康德二年度に於ては百八十五キロメートル、同三年度には二百七十七キロメートルを築造し、橋梁を含む殘工事百九十キロメートルが即ち康德四年度保甲員の

双肩

に托された大事業なのである、「一メートルを一人で築け」をスローガンとする本工事は實に六萬五千四百人の保甲員を動員することとなり、勞銀は僅かに一日一飯程度を出でないところから國道局の築造費等とは比較にならず旺盛な奉仕精神に基くその活躍は全く涙ぐましいものがある、四月解氷と共に保甲員の力强い腕に王道樂土建設、治安の護りの鶴嘴が戞々と鳴り、將來は重要な產業道路としても利用される坦々たる幹線道路は結氷と共に全てを竣成することになる

內地見本市 役員及び加入商

新京輸入組合理事久末吉次氏を團長とする內地見本市（三月上旬東京、大阪に開催）視察團體は新京のみで約三十名に上り愈よ來る二月二十六日新京發內地向け出發する事となつた、役員及び團體加入商は左の如くである

團長 新京輸入組合理事 新京貿易組合常任理事 久末吉次
副團長 新京特別市商會理事 玉錫廷
商業調査 新京特別市公署關口調査股長
通譯 新京貿易組合書記 莊寶源

邦商之部

業種	商號	氏名
和洋雜貨	現代號	茅本喜一
建築材料	科野洋行	淺井庄一郎
自轉車	大本商行	大本六二
食料品	德本商店	德本長松
同	杉尾商店	杉尾正一
同	日華洋行	垣內太治馬

滿商之部

振興合、愼昌公司、老天合、愛光店、興順增、公茂號、成文厚、天益興、老德和、大中西藥房、四寶堂、益泰長、天增益、謙益東、天增泰、中原洋行、泰豐號、金富工場、四海盛

商況欄（三月十六日）後場

●上海標金 二三三、二
●上海爲替
前引

日本向 第一回 賣 一〇四、八七五 買 一〇五、一二五
倫敦向 第一回 賣 一志二片一八分二 買 一六分五
紐育向 第一回 賣 二九弗一六分三 買 八分七

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一五〇、八〇	―
豆新	二一、〇〇	―
東新	一三三、九〇	―
滿鐵	六〇、四〇	―
同新	四八、五〇	―
日產	八五、八〇	―
鐘新	三三六、二〇	―

天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一三三、一〇	―
東新	八五、七〇	―
日產	三三六、三〇	―
鐘新	一六、九〇	―
五品	二〇、九〇	―
豆新	六〇、五〇	―
滿鐵	四八、一〇	―
同新	六六、〇〇	―
電甲	三三、五〇	―
滿毛	三三、五〇	―
日晉	七一、二〇	―

手形交換高（十六日）

一、〇六六枚 [illegible]

鮮魚小賣相場

百双に付（十六日）

品名	最高	最低
活鯛	一八六	一五六
氷鯛	八四	…
小鯛	七二	六一
連子鯛	四八	四六
チヌ鯛	五四	四八
アマ鯛	三三	一八
イセエビ	…	…
車エビ	四〇	…
ブリ	…	…
ヒラス	…	…
マナ	…	…
鮭	二八	二八
サバ	…	…
アヂ	二六	二三
メバル	三六	一二
ヒラメ	…	…
コチ	…	…
水蛸	…	…
飯蛸	…	…
カニ	三〇	二八
アナゴ	…	…
アワビ	一六	…
シジミ	…	…
甲イカ	…	…

天氣と氣溫

けふの天氣
日の出 前七時卅六分
日の入 後六時一一分
月の出 前十時一八分
月の入 前〇時一七分
きのふ氣溫 最高零下七度六 最低零下二三度六

錦州を中心としての観光遊覧コース

錦縣鐵路局のプラン成る

【錦州國通】半年近い陰鬱な冬籠りから解放された人々が戸外へ、戸外へと春風を追つて野に山に自然の春の粧ひを求めたき頃から水戀しき夏、收穫の秋を狙つて錦縣鐵路局旅客科では本年度において大體左の如き團體募集、旅客誘致のプランを樹てゝこれが實現に當ることゝなつた

月別）（行先）（人數）（募集地）
四月　東陵參拜團體　一〇〇名　奉天
四月　上齊台廟　―　錦州
五月　旅大觀櫻團體　三〇名　錦州
同　閭山探勝團體　五〇名　奉天
同　同　五〇名　錦州
六月　熱河北支觀光團　三〇名　全滿
同　元帥林ハイキング　一〇名　奉天
七月　壺蘆島釣魚團體　五〇名　奉天
七月　朝陽祐順寺廟會　―　錦州
同　壺蘆島釣魚團體　三〇名　錦州
同　興城海岸花火大會（海岸施設完了後宜）　―　奉天　錦州
同　承德觀光團（傳として行ふ）　三〇名　奉天　錦州
八月　興城水浴團體（灤河下りも併行）　一五〇名　奉天　錦州
同　新京、哈爾濱廻遊團體　二〇名　錦州
九月　閭山探勝團體　三〇名　奉天
同　同　錦州
同　義縣阜新廻遊團體　七〇名　奉吉　錦洲
十月　興城溫泉浴客團體　―　奉天
十一月　同　―　錦州
十二月　第四回北支觀光團體　―　全滿
三月　訪日團體（滿洲國人を主として）　―　錦州
三月　上齊台廟會　―　錦州

釜山、茂山二鑛 日鐵が買收

【京城支局】日鐵では商工省の方針に從つて日滿銑鐵販賣一元統制、次いで半製品、鑛山屑鐵、市價統制及び貧鑛處理の積極的開發を行ふことになり着々準備工作中であるが更に伍堂商相が予ねてより日鐵の鑛山買收を希望したるに鑑み近く釜山（三井）茂山（三菱）の二大鑛山買收に乘り出すことになり此の同社の積極的方針は頗る注目されてゐる

滿鐵沿革史 編纂座談會

【瓦房店支局】滿鐵始政三十周年紀念沿革史編纂による準備座談會の爲め本社より宮部氏外速記者等五名來瓦午前十時に參集し午後六時に至る長時間集合し終つて「文化一」において會食の旁ら補足談話會を開き九時頃散會した

因に參席者は本社側宮部氏外四名、瓦房店地方事務所側中根所長、眞崎庶務係長三浦地方係長、眞鍋經理係長、蘆澤社會主事、枚浦商工主任、赤津公費理事、地方在住者側より廣瀨駒男、早川勘太郎、槇戸喜一郎、松尾新藏、永田文之助、近藤俊一、森田彥三郎、小川政次郎氏等であつた

滿鐵勤續者の表彰を社員會から申請

【大連國通】滿鐵社員會ではさきに開催された第五回理事會において可決された

一、會社創業三十周年記念式擧行に際し創業以來の勤續者を特に表彰の件

一、功績章制定の件

の二項を十日附をもつて石原幹事長から總裁に請願した、勤續社員表彰は會社創業以來の功勞者の勞を三十周年記念に際しねぎらうといふのであり、功績章は會社に功績あつた者に對して與へようといふのである

獻る"蘭" 趙書伯の精進

【京城支局】鮮展でお馴染の「蘭」の靈筆を揮ふ全北裡里の松齊こと趙東旭畫伯は滿洲國皇帝陛下に蘭の繪畫を獻上すべく總督府外事課に手續方を照會して來たが、同畫伯は得意の構圖の精根こめた採管を揮ひ畢生の大作を物すべく精進中であり總督府でも大乘氣で獻上の手續を採ることとなつた

かくして大慘事は惹起された

滿洲舞臺災禍諸原因

【安東國通】滿洲舞臺慘事の原因は目下安東警察廳、安東署で愼重取取中であるが、俳優部屋のストーブ過熱によるものらしく建物が木造ペンキ塗であつた爲め火の手が早かつたこと、經營者が日本人のため營業取締は日本側警察、觀衆取締には滿洲側警察と二元的取締が行はれてゐた點や觀衆の訓練が出來て居らず防寒具を着てゐるため敏活な活動が出來なかつた等の諸原因が山積しその上に各出入口の扉が左右に開くため、一時に雪崩れをうつて來た觀衆の壓力で開き難かつたものらしく今後はこの多數の犧牲に鑑み公衆の出入する建築物の取締りや舊來の慣はしであつた入場料を内部で取ること等についても充分改善の餘地が殘されてゐる

行政權移讓で 安東に準備委員會分會

【大連國通】滿鐵の附屬地行政權移讓準備は着々進行しつゝあるが、今回滿鐵では安東に地方行政權調整準備委員會分會を設立、同方面地方施設移讓の圓滑を期することゝなつた

雪に戯れる（内地便り）

讀者の領分

國旗掲揚に就て

義憤生

去る二月十一日は紀元節だつた、紀元節が我日本の三大節である位の事は今更此處に喋々する必要はない、所が在新京の日本人で御存知か否か、一應疑はざる得ない事實が存在する

一々その氏名と店名はその人の名譽の爲に書かないが日本橋通の日本橋から南廣場に至る四五丁の間に國旗を掲げて居た日本人の家は僅か四軒他の凡ては掲げて居ない、御承知の樣に日本橋の此の部分は日本の實業界を代表する樣な大商店の支店出張所が多いその殆んど凡てが此の悲しむべき且憎む可き例に漏れて居ない、而かもそれ等に隣接する滿人の店はたとへその日が丁度舊正に當るとは云へ早朝から日滿兩國旗を交叉掲揚して居る、恐らく心ある士は此の悲しむ可き事實を目撃したならば余りの沒常識に義憤を感ぜざるを得ないであらう、自分も亦その一人である

或は當事者は不幸にも忘れたといふかも知れない、世の中には單に忘れたで濟ませる事と、濟まされ得ない事とがある、今一度三大節なる事を云はう、そして當日は建國紀念祭日として、東京各地を始め新京に於ても各種の紀念事業が催され、世を擧げて民族意識の再檢討と强調を要求して居る今日である、何處から「忘れて居た」なる一言を發せられ樣が强ひて辯解せんと欲するものは速かに日本人たる事を辭せよ、幸未だ日本民族意識有りと自負するものは遙に東の空を拜し、凡ての日本人に向ひ心から陳謝すべきだ

敢て反省を促す

岫巖、大孤山間に 愛護村結成

【錦州國通】錦縣鐵路局では昨年十二月十日より岫巖―大孤山間七五粁に路局の自動車營業を開始したが、この新設路線の交通の安全を期し兼ねて沿線住民の福利增進の見地から今回劉家保子、柏家保子小洋河子、大山咀子、東土城子、西土城子の六ヶ村を愛護村とし岫巖において盛大なる結成式を擧行した

朝鮮美術展 審査に朝鮮趣味重視

【京城支局】朝鮮美術展覽會は來る五月十六日から六月五日迄三週間舊景福宮内で開催尚ほ作品申込及搬入は五月四日から六日迄また鑑査は五月八日より十日迄夫々行ふが、今春からは從來とその趣を替へて朝鮮趣味を主體として審査や鑑査も行ふ

2―0 對露商アイスホッケー戰 奉醫惜敗す

【哈爾濱國通】奉天醫大對ハルビン露人商業クラブ、アイスホッケー第一回戰は十五日午後三時半より市立體育場において開始、熱戰の後二對零のスコアで奉天が惜敗した、閉戰五時

ハルビン3{1―0 0―0 1―0}0奉天

海外ニュース

ルシタニア號引揚げ

【ロンドン國通】大戰中アイルランド海峽でドイツ潛水艦の爲沈められたキユナード汽船會社の豪華船ルシタニア號（三萬千五百噸）の引揚作業が近くサルヴエージ・コンパニーの手で行はれることゝなつた、同船には多くの財寶が積まれてあるのだが今迄引揚げなかつたのは位置が分らなかつた爲で今回は數回の探査によりその位置を正確に確め得た爲有望視されてゐる

日滿實業協會支部で 產業視察團募集

内地各市訪問日程決る

來る四月五、六兩日名古屋に於て開催される汎太平洋平和博覽會に際し同協會滿洲支部では内地產業視察團を募集してゐるが此程日程も決定、左の如く發表された、參加希望者は二月二十日迄に商工會議所内實業協會支部に申込ありたしと

甲班（西廻り）三月二十七日新京發安東、別府、大阪、名古屋、東京、新潟、羅津を經て四月十七日新京着解散

乙班（東廻り）三月二十四日新京發羅津、金澤新潟、東京、名古屋、大阪別府、安東を經由四月十四日新京着解散

關東軍管下 所在不明者調査（七）

福岡縣　補　歩　松永泰三
愛媛縣　後　歩伍　松本昌三
山口縣　後　電一　松井茂一
山形縣　補　歩　松田博
栃木縣　豫　歩上　增田兵二
長野縣　同　歩少　丸山靜一
高知縣　後　歩一　前田賀夫
山口縣　豫　歩一　正長一二
大阪市　後　歩一　增塚一
大阪府　補　歩　松島寅春
佐賀縣　同　輜特　松木弘
佐賀縣　後　歩上　松尾豐
山口縣　補　輜特　松永正夫
福島縣　後　看　松本尚
熊本縣　補　輜特　松木秀
廣島縣　豫　輜特　松本悟
熊本縣　豫　航上　松本義雄
靜岡縣　補　歩上　松本戸四郎
島根縣　補　輜特　松浦庄之助
島根縣　補　歩　松藤武義
新潟縣　補　歩　松原猛
岐阜縣　補　歩　松村正雄
佐賀縣　補　歩　松尾正味
福岡縣　補　砲　松藤武一郎
長崎縣　補　砲　松島尚隆
靜岡縣　豫　砲上　增田幸太郎
三重縣　補　歩　增内文内
鹿兒島縣　補　歩　丸岡文正
長野縣　後　衛上　丸山瑛
熊本縣　補　輜特　前川五百三
鹿兒島縣　豫　輜幹少　深柄健彦
大阪市　豫　砲一　藤崎忠次郎
宮崎縣　補　歩　藤原丑松
北海道　補　歩　古垣寅吉
福岡縣　豫　騎一　古賀茂
同　補　砲　深田藤夫
岐阜縣　後　騎軍　藤田清司
三重縣　豫　輜特　藤右衛門
滋賀縣　後　輜特　藤居直太郎
山口縣　後　歩軍　福永安一
福島縣　補　歩　福島秀雄
奈良縣　補　歩　福村幸男
鹿兒島縣　補　砲　福元幸之助
廣島縣　補　歩　藤井顯
福岡縣　後　砲二　藤島巖
北海道　後　砲一　古川貞一
神奈川縣　補　歩　府川八郎
茨城縣　後　工上　福田和親
岡山市　後　歩一　福田德
鹿兒島縣　後　工上　福森太次郎
廣島縣　補　歩　藤川喜平
廣島縣　補　輜上　藤原太郎
石川縣　補　衛看　藤田芳雄
大分縣　補　輜特　藤井圓三郎
長野縣　補　輜特　古町晴雄
群馬縣　後　輜特　深堀太郎
岡山縣　豫　歩一　藤浪雅德
鹿兒島縣　補　歩　福留榮藏
兵庫縣　補　歩　藤原秀雄
福井縣　後　歩一　藤木極
北海道　豫　一看　藤原茂雄
鹿兒島縣　豫　野砲一　藤川五一
島根縣　補　輜特　福永純夫
廣島縣　補　歩　藤井久雄
山口縣　後　歩上　藤井守夫
兵庫縣　補　輜特　藤原良太
東京市　後　歩上　藤本角三
福島金松

家庭

今時のお母さんは理窟が多すぎる
教育ばかりが育兒に非ず！

近頃の親は昔の親に較べて非常に進んで來て居ります。時によるとさう云ふ方ばかりに偏つて親が直接に吾子のこまごました世話をしてやると云ふ事はいささか怠られては居ないかと思ひます

例へば昔の親はよく(子供)の爪等を取つてやつたり、又湯に入ればよく子供の背中を洗つてやつたり、かう云ふ事は今日の親、殊に若いお母さん方には甚だ足りないのではないでせうか、その若いお母さんは吾子を立派なものに育てようとする大きな志に就ては勿論立派な親ですが謂はば此理想方面の親心が一杯で小さい世話がお留守になつて居る風がないでせうか、小さな事は親として未端の役目のようにも見えますが、吾子に(親の)心をシミジミと通はせて行くにはかうした小さい所でこそ却つて本當に出來るのでせう、親子が近く相觸れて親の手で子供の手を持ちそへて居る所に云ふに云はれない人間情味の通ふ機會があり、机を隔てて吾子と相對して居る親の教育態度等には到底得られない味がそこにあります、一緒に入浴して吾子の背中を洗つてやると云ふ場合にも、清潔衛生と共に吾子の發達健康に就てよく見る機會もありますし、それは外の場合でも出來るとしても互に極く輕い話を樂々交換すると云ふやうな最もいゝ機會が自ら與へられます

(教育)と云ふ事を考へて居るときの親は子供にとつては多少他人くさいへだてがないとも限りません、身體のみならず、心も赤裸々なありのまゝで、理窟のない溶けるやうな温い空氣の中に、子はどの位親と共に居る幸福を感ずるものか分りません。何も爪取りと背中を洗ふ事が家庭教育だと云ふのではありませんが斯うした所にも家庭教育の極深い意義がひそみ、又行はるものであることは考へたいものです

どうも今日の一體の傾向が吾子の教育を考へたり、教育として行ふ事で(一杯)になつてゐる親が多いやうな氣がするので、こんな事もそれとなく注意して置きたいやうな氣がします。吾子にとつて家庭は教育以上のものであり、親は教育者以上のものであり、もつと生々しいものとして吾子に與へられなければならないと思ふのです

試驗地獄
勉强中の子供の食べ物
消化の良い物を

子供の全精力を傾注する試驗勉強時代における食べ物は平常の蛋白量やカロリーの標準給食よりも聊か趣を變へる必要があります。その理由は試驗勉強時は、エネルギーの消耗の多きに反して運動と(睡眠が)不足勝ちになる關係上、非常に消化力が衰へますからこの點に意を用ひなければなりません。世間には往々これを誤解して、何でもこの際平素より滋養になる物を多く與へさへすればよろしいかのやうに考へる向もありますが、徒らに滋養食を多く給與すれば却つても障碍を誘發し、頭腦のはたらきを鈍らせて、勉強の妨げをなす結果を招來致します。然らば試驗勉強時にはどんな物をどんな風に(料理し)て與へるがよいかと申しますと、第一に主食としては、胚芽米の粥または雜炊。食パンをトーストにしてバタを塗りつけるか或は卵の黄味と雲丹を煉り合せたものを塗りつけるか、鷄の臓物、牛の肝臓または心臓を鹽ゆでにして摺り潰し、これに卵黄をまぜて鹽胡椒で調味したものを塗りつけるか、更にまた主食(副菜を)兼ねて野菜サラド、鮭の卵、蝦、蟹、輕淡の魚肉のそばろなど取合せてサンドウヰッチに拵へたもの、及び煮込みうどん等が最もよろしいです、第二に副菜としては鷄肉及びその臓物、牛の肝臓及び心臓、鯛、鰈、白魚、公魚、沙魚、脂肪の少ない部分の鮪、蝦、蟹、牡蠣、雲丹、魚卵などの無機鹽類中特に神經榮養に役立つ燐分を多く含んだものそれから含水炭化物とヴイタミンのあるホウレン草、小松菜、チサ、白菜、人參、トマト、葱、大根、百合、大和芋(馬鈴薯)の類を煮るか燒くか或は蒸すか、和へ物浸し物にするかして、以上の食物中蛋白質の多い魚類肉類には、調理に際して必ず三對七の割合に野菜類を取合するのがよろしいのです、そして主食副菜共に、平常の食量より二分位尠くしていはゆる八分目程度とし(飲料は)珈琲または酒精分のあるものを禁じて、黒豆茶を飲むが一番體の爲によいのです。

試驗前の子を持つ母へ
兒童衛生の三條件
これ丈の注意が肝心

入學試驗が近づいて來ました、受驗期に於ける兒童の衛生に關する注意をお母さん方の參考に供しませう、先づ

第一 には朝から晩まで續けて勉強させる事は、最も愚かな事です、餘り續けてさせますと疲勞して、記憶させよう、理解させようとしても効果はあがらなくなるものですから時間の間に戸外に出させて新鮮な空氣を呼吸させ、又青い草木を見させ頭の(刺戟を轉向)させて、疲勞を恢復するやうに氣をつけてやります、夜分寢む時風呂に入ることは疲勞恢復に非常に効果がありますといふのは、入浴すると身體中の疲勞毒素が排出されますから

第二 に食事ですが胃腸を害さぬ樣に注意しなければなりません、勉強するからと云つて、むやみに滋養物を攝つても運動が不足勝な場合ですから不消化で、從つて胃腸をこはします、時に(消化の好い)滋養分をとる事が必要です、殊に子供では、砂糖分をよけいに攝る事です、これは疲勞恢復の上に大へん効果があります、又頭を使ふ時間には、蛋白質の分解が盛になりますから、從つて肉類等を多く攝る事も必要です、同時に、ヴイタミンCの含まつた野菜類を攝つて元氣づける事は非常に必要な事です、野菜を攝る事は、同時に保健食として肉類を攝る時に必要であるばかりでなく便通を整へる上宜しいのです、便秘すると頭が重くなりますから(便秘を整へ)る事は頭を明瞭にする點に於て受驗時には特に心掛けるべきです、又滿腹すると睡氣を催し、頭がボンヤリして來ますから、八分目攝り、食後一時間位は休ませます

第三 試驗勉強中はとかく風邪を引き易いものです、勉強の疲勞のために身體の抵抗力が減じてゐますから(風邪を引き)勝ちなのです、室内を温かにし過ぎると睡氣を催しますし、木炭から出るガスのために室内の空氣が惡くなつたりしますから、常に換氣に注意してやることが肝要です。

お雛樣の飾り方
無茶な飾り方は品位を損ふ 標準とされる方法

(雛壇は)普通五段か七段ですが、別に何段でなくてはならないと云ふ規定はありません。飾り方も嚴重な法則があるわけでもありませんが、さうかと云つて無茶な飾り方では雛段の品位を損ひます。

そこで現在標準とされてゐる方法はといふと、五段飾りの場合は、まづ最上段には後に屏風を立て、その前に内裏雛を飾ります、男雛と女雛の置き方には御眞影奉掲の位置にならひ、向つて左を男雛、右を女雛といふ風に置かれてゐます。この男雛と女雛との中間に(桃酒の)瓶子をのせた三寶を供へます。もしお伽犬張子かあれば内裡雛の兩脇に据ゑ、また風帳があれば内裏雛の背後か或は左右兩側にやゝ斜におきます。

二段目は官女で、中央を三方持ち、向つて右は長柄の銚子持ち、左は提子の銚子持ちをおきます、官女と官女の間々へタカツキを配します。なほ下段に飾るものゝ多い場合にタカツキを兩端、即ち官女の外側とし、官女の間々へは菱臺を配してもよろしい。

(三段目)は五人囃子で、これは能樂の囃子方に擬したものだから、並べ方もそれによつて、向つて右端に地謡、次に笛、小鼓、大鼓の順で、大鼓は向つて右の端とします。

四段目は段の左右に隨臣を飾ります、向つて右が左近衛向つて左が右近衛とし隨臣の間は三人仕丁を置きます。仕丁は中央が沓臺持ち、向つて右が臺笠持ち左が立傘持ちです。

五段は、段の向つて右端に左近の櫻、左端に右近の橘をおき、中央には御膳、その兩側に菱臺、白酒徳利、座籍などの食器をおきます。七段飾りは上から四段目までは(五段飾)りと同じですが五段目と六段目には諸種の道具お人形の類を配し、最下段の七段目を五段飾りの最下段と同樣にします。

以上は大體の標準ですが、あまり理窟にこだはらないやうに飾つた方がよろしい。

季節料理
一食十三錢のお獻立

季節料理けふは一人一食十三錢位のお獻立を申上げませう 御飯はお米一合を一人分と見まして只今出盛りの鰆やお野菜を使ひます

一、酢鰆の揚げ炊き

【材料】(五人前) 生鰆(十五匁位のもの)五切 又は鹽拔鰆 酢、醤油、片栗粉 少々 揚げ油(ラード又はゴマ油) 煮汁 煮出汁 五勺 酒 一勺 醤油 一勺半 砂糖 大匙山一杯

鰆は五六分角切酢をかけてもみ十分から三十分位おき醤油をかけ片栗粉をまぶして油で揚げお鍋に煮汁を煮立てた中で煮ます

二、子芋の友和へ

【材料】(五人前) 魚の卵(生鱈) 一腹分 里芋(なるべく子芋) 一〇〇匁 卵の煮汁 煮出汁又は水 三勺 砂糖 大匙山盛一杯 醤油 一勺 里芋の味付 煮出汁又は水と調味料、鹽、醤油、砂糖 少々

魚の卵を五分切として煮、別に里芋を煮てまぶします

三、小松菜の青煮

【材料】(五人前) 小松菜(又は小蕪の葉) 五〇匁 醤油 少々 調味料 少々

小松菜か小蕪の葉を青く茹で調味料と醤油を合せてかけます

ラヂオ けふの番組
(M・T・C・Y 新京放送局) 十七日(水曜日)

(朝) 七・五〇 ラヂオ體操(東京) 八・一〇 氣象通報 入港船のお知らせ(大連) 八・一五 初等滿洲語講座(大連) 講師 秩父 固太郎 八・四〇 朝の音樂(大連) 九・三〇 經濟市況(東京) 九・四五 建國體操 一〇・四〇 經濟市況(大連、新京) 一一・〇〇 家庭講座(哈爾濱) 家庭宗教講座(三) 信仰と新生 伊東 平次

(晝) 一一・二〇 料理獻立(大連) 一一・三〇 家庭メモ(大連) 一一・三五 經濟市況(東京) 一一・四〇 經濟市況(東京) 一一・五九 時報(東京) ○・〇五 晝の演藝(哈爾濱) ジャズとジャズソング 一、ジイラジイラ(タンゴ) ヴアイオリン 西田俊明 二、谷間灯ともし頃(流行歌) 三、馬は野をゆく(流行歌) ピアノ 平山 武藏 アッコーディオン 四、キリューシャ なつかしのふるさと(ワルツ) 五、上海リル(流行歌) 獨唱 小兒メミー 六、戀の夜汽車(流行歌) 七、スペインの姫君(パソドブル) ○・四〇 ニュース(東京、新京) 一・〇〇 經濟市況(大連、新京) 三・〇〇 經濟市況(大連) 三・五〇 經濟市況(東京) 四・〇〇 ニュース(東京、新京) 四・三〇 經濟市況(大連) 五・二〇 ニュース(鮮語)

(夜) 講演 滿洲に於ける米穀問題に就て 中榮 雨(鮮語) 六・〇〇 子供の時間(東京) 近世日本の英傑(二) 中江藤樹 御色並演出 東京放送童話研究會 六・二〇 コドモの新聞(大連) 六・二五 ラヂオ隨筆(東京) 火鉢を中にして 荻原井泉水 六・五五 カレントピックス(名古屋) 怠け者三昧 農學博士 大町 文衛 七・〇〇 ニュース(東京) ニュース、告知事項 番組豫告(新京) 七・三〇 趣味講話(東京) 佛像の表情 文學博士 逸見 梅榮 八・〇〇 混聲合唱(東京) 日本作曲年鑑より 大日本聯合合唱團 一、早春、外四曲 ピア伴奏 天池眞佐雄 指揮 矢田部勁吉 八・二〇 新内(東京) 明烏後正夢(道行の段) 淨瑠璃 富士松喜久翁 外 三味線 富士松喜久太夫 外 八・五〇 連續舞臺劇(東京) 相馬の金さん(上) 岡本綺堂作 出演 前進座 一、神田明神伊勢屋の場 二、青山長者が丸古寺門前の場 三、赤坂田町若松の場 配役 徳川の後家人 相馬金次郎 河原崎長十郎 常磐津師匠文字若 河原崎國太郎 外大ぜい 九・三〇 時報・ニュース(東京) 告知事項、ニュース、氣象通報 番組豫告(新京) 一〇・〇〇 長唄 教草吉原雀 唄 千鳥 通中 金波 多賀丸 幾松 菊丸 觀音 三味線 望月太八郎 杵屋十七郎 望月太鶴子 一〇・三〇 北滿の時間(哈爾濱)

學芸

新しい分野
短歌・川柳の活潑なる擡頭

本社主催 文藝座談會（上）

（以下は覺え書風に要領だけを書きとめたものである或ひは發言者の意圖を誤り聞いた部分もあるかも知れない。あらかじめおことはりして置く。）

桃北好澄氏 先づ新聞の學藝欄の批評やそれに對しての御註文などからはじめていただきたいと思ひますが

泉芳雄氏 批評が欲しいですね

佐和山一郎氏 さうだ、たとへば懸賞入選作が出る、さうするとみんな次の作品を期待してゐると思ふんだな

山口愼一氏 やはりやらねばいかんな、やりませう

奥一氏 最近は短歌が非常に盛んだね

佐和山（以下略敬稱）そして詩が尠い、高木恭造氏なんかどうしてゐるのかね、いつかダンスホールで遇つたが

小野寺宮助氏 短歌、川柳などが盛んになつて來たといふのは、滿洲國が落ち着きを見せて來た、その現はれと思ひますね、うれしい感じがします

泉 色々組織が出來たといふこともあるんだな、去年の春頃から…

桃北 僕たちとしては油をかける調子でやらねばならんと思つてゐるのです、創作も大いに出して貰ひたい、賑やかな氣配が欲しい

佐和山 電々あたりには詩をやる人が相當ゐて、こちらに這入りたいといふ氣持を持つてゐるやうだが

桃北 「モラル」の堀江信夫氏などもゐるね

佐和山 欄を設けることはどうかね

桃北 それは簡單に言へないが

木曾川徹氏 川柳の方ですが「三中井」といふ出題が文句をつけられてね、一應反駁して置いたのだが

泉 ああいふのに個有名詞はどうですかね

茶木貫二氏 あの頃の人氣といふものを考へれば「三中井」とするのは當然だらう

泉 迎合してはいかんと思ふ

藤川研一氏 反駁したことはよかつた、さういふ風にして伸ばしてゆかねばならぬ、僕は出題に贊成だ

そしてチャンスだつたと思ふ、そして結局川柳に關心を持たせたといふ効果があつた

松尾小女郎氏 若し非難者のいふやうに三中井の宣傳のためにしたのなら、「三中井のマークが目立つ贈り物」などを一等にすべきだつた、しかし選者としては嚴正な立場から諷刺ユーモアのある「日曜日……空財布」といふのを採つたのです、投書は川柳を解せぬもののやつたことです

出席者（順序不同）
西藤辰雄、寺井慶乘、小野寺宮助、山谷三郎、奥一、佐和山一郎、泉芳雄、今村榮治、松尾小女郎、內山若枝、木曾川徹、藤川研一、伊東邦夫、降旗克茂兄、杉山正三郎、茶木貫二、和波灝、山口愼一、桃北好澄

木曾川 現實の問題をつかまへて論ずるといふ一方便として生氣が加へられた

小野寺 非常にいいと思ふ

松尾 新しい川柳をつくるために新しいものに目を注ぐのは當然ですからね

茶木 近頃、俳句や詩の方でヒューマニズムとの關係が、喧ましく論ぜられてゐるやうですが新京の諸氏はどうお考へですかね

小野寺 大きい眼で見て、ひろい意味の詩ですが、子規が寫生といふことを唱へたそれが幾分誤まられてこの三十年來景物詩といふものが全盛だつた、それに一つの反動が來て居るのだと思ひますね、「アララギ」で「人生と短歌」と題したのを讀んだことがあるがそれは離れぬものだと思ふ

泉 時代の思潮は絶えず動くその現はれでせうね、小說でもさうだ

小野寺 廻つて來るわけだらうが、そこに時代の要求といふものが感ぜられる。菊池や久米の小說が一時はもてはやされたが今は飽きられてゐる

バクゲキ機

平板な小篇
—今村久米子氏「軋轢」—

今村久米子氏の小說「軋轢」を讀んだ。（滿洲行政二月號）

これには、二人のダンサーと一人の男との間のちひさな「軋轢」が描かれてゐる。若い方のダンサーが、男にも一人のダンサーに親しむのに對して、男にそのダンサーの惡口を書いた手紙を出したといふのである。男ははじめひたむきな愛情をその年長の女に傾けてゐたやうであるが、やがて女の話を聞いたりして今後は良い友情を保たうとするといふやうな、いかにもそこいらにありさうな話である。

これはいはば平板な風俗圖繪とでも言ふべき小篇である。ことごとしく取り上げるにも當らぬかも知れぬ。ただ、以前にも幾つかの作品を示したこの作家に對しては、もつと多くを望んでいいと思ふ。ありふれた生活の中からでももつと意味のあるものが掴み上げられはしないだらうか。すでに書きふるされたやうな物語の再生は、通俗雜誌のコントと銘打つたものでも讀まされるやうで新鮮味を感じない。妄言御免。（北野人）

或る青春の譜（四）
葉山京子

「へーえ、こんな家知つてんのかい？」

「御料理小松屋」と赤い軒燈に妙に意氣がかつたくづし文字の料理屋の前に馬車が止まるといさゝか、たじろき乍ら彼は驚いて訊ねた。

「だつて此所の方が落着いていいわよ」

久美子はかまわず格子戸をがらりと開けた、凄ごいんだなあ近代女性つてこうした無軌道な反面もあるのだらうか？　だが女の子に連れてこられてゼクゼクするなんて恥だ。それに萬更ら知らない種類の家ぢやなし……、かまふものか、と言ふ氣持がぐいともたげて來たと同時に何かしらドキドキとしたアヴァンチュールが胸中を駈け廻つた。

ふと和子の面影が浮んで消えた。

×　×　×

（又今夜も遲いのか知ら）和子は布巾を被せたまゝの茶ブ台の夕食を恨めしげに見やつた、もう疾くに仕度は出來ておみをつけなど冷えぬよう幾度ガスにかけ直したか知れない、窓外にはチカチカ凍てついた星影ばかりがきびしい師走の宵の寒さを思わせるばかりであつた、彼女は所在なさに夫の本箱から手あたり次第に一つ部厚いのを抜き取つてバラバラと捲くり出した。

だが心はすぐ空虛に他の事を考へるのである。夫の生活とこんなに切り詰めた暮しをしてゐる家庭との對照から來る憤りや憂がブスブスと心臟で燻つていたのだ

その時ふと膝の上に白い紙片の落ちてるのに氣附いた、ページを捲くる拍子か何かに滑り落ちたのであらう。

「××町三丁目五番地　澄田久美子」

懷紙の端を千切つてしたためたらしいその紙片にはこうした女文字が記されてある、澄田久美子？　誰だらう、夫はどうして此の女を知つてるのだらう、彼女の記憶にはかつて記された事の無い名前である。ふと或る疑惑が腦裡を掠めたあの女ぢや無いだらうか？　何時かの夕方南條と一緒に腕を組まんばかりにして歩いていた女性、あでやかに笑つていた瞳がでも何か聰明なものに感ぜられた洋裝の人だつた、其の時は唯會社の女だらう位ひに安感していたのが今になつて妙に氣になつて來たのである、それに彼處が××町だつたのも單なる偶然とは思へない、輕い疑惑が何時の間にか判然と和子にはそうだと思ひ込ませて澄田久美子なる女性はあの女だと烙印を押してしまつた、と急に自分の妻と云ふ位置があの女に搖ぶられているやうな不安な氣持が叢雲のやうに襲つて來た。

×　×　×

銳敏になつてゐる聽覺に時計がうつろな十時を知らせた……十一時を知らせた……十二時を知らせたが夫の歸る足音だに聞えなかつた。

×　×　×

彼にはあの夜以來久美子に會ふ事も無く鬱々と樂しまない日が續いた。

その日も朝から雪が降つてゐた、丁度晝休みで同僚が雜談をしたり食事に外へ出たりしてオフィスの中の閑散な頃給仕が一通の封書を持つて來た

誰からだらう、不審氣に裏を反して見た彼はハッとした、久美子からなのだ、封書なんか遺して何の用事だらう？　取りあへず封を切るとやゝみだれた彼女の筆蹟がそれでも細々と續いてゐた。

「とうとうお別れの日が參りました。何時かは此の日の來るものと豫期しながらも此のやうに早くとは思ひもよらない事でしたのに、私今度從兄と結婚する事になりましたの、內祝言を濟まして式は彼の鄕里でやるとの事ですからもう二、三日したらこの新京ともお別れしなければなりません、父が殘して行つた借財の仕末をしてくれたその代償が私だつたのです、此の契約は既に此の新京に來た時から成立されてゐました、金で買われた花嫁なんてこんな悲劇（或ひは喜劇かも知れない）はもう通俗小說でもはやらないでせうに、でも今はもう別にそうした事を悲しいとも思わなくなりました、昔の私でしたらどんなにしても此の結婚を拒否したでせう、でも今では拒否してどうなるんだつて氣持になてしまひます？　そんな事しても唯うるさい結果が沸き出すばかりです？　彼は好きでもけなければ嫌でもないもつとも結婚と云ふものの結論が家庭生活の幸福であつてみれば私に取つて勿論撰ぶべきは彼ではありませんでした、でももうどうでもいい、これからの私を待つてゐるところの未來なんてきつと貴方の生活と同樣な無氣力な毎日がくり返される事でせう、結婚なんてお互ひやれ理想だのなんだのつて云つたつて結局一寸したかんきよう一寸した動機で他愛なく成立するものですね……」

まだ後は續いていたが此處まで讀んで彼はたまらない氣がした。

そうか！　そうだつたのか、何處か捨て鉢な態度をしめす彼女に今まで氣附かないでもなかつたがその原因が奈邊にあるかは知る由もない彼だつたのだ。

破局は案外に早く來た、一度ならず二度までも別れる事を餘儀なくしなければならないのを彼は其所に何か宿命的なものを感じるのであつた、從兄だと彼女の言ふまだ未知の人物を彼は暗く想象していくうち何時しかそれが妻の姿に變り久美子の姿に變つて行くのである、皆不幸な人の姿として次から次へ腦裡をかけめぐつていくのである。

彼は白くかわいた氣持のまゝ窓外に體をうつした。

窓外には先刻よりなほはげしくなつた粉雪がふりつづいていた。

新京短歌會詠草

のぼるとも見えずわが汽車ののぼりゆく興安嶺に野火の覆へる　池田東

群羊の夕べ畑をよぎり行く牧夫の鞭の高くなりつつ　後藤運助

宵更けて客人送る門の邊に仰げば星座冴えまさりけり　安永廣子

さめて又生命をなげく心かも窓に小雪の吹きみだれつつ　津田八重子

新墓にてありしを思ふときをりに表紙千切れし經書とり出だす　盛田武男

破璃戸もるはだえに寒き小風なり溫水煖房の湯鳴りもやみて　小野寺淸子

吹きさらしいく夜を經ぬる土壁のすきまよりもるつや荒れし降　水木洋史

母と子とつつましく住みてある家は海近くして松風の音（弟の寓居にて）　宮川靖

常緑木をさやかに立てて裾の尾は雪一色のふるさとの山　小野寺宮助

舊正月間近き朝にあはただし貯炭場の前に列らなる荷車　横山正利

これの魚もねむらんとすらし白壇の水盤のすみによりて久しも（夜更て夫を待つ）　兒玉能婦子

くろぐろと雪の上のかげもあたたかく春近き日の枯木はならぶ　玉川辰郎

春さらば逢はなと言ひし人さへや亡びゆきにき夢のごとしも　桃北好澄

凍てつきし興安大路の道の面に夕燒の色映えわたりつつ　內山若枝

床の上にうす紅の梅咲きにけりひねもす見つつ心たのしき　三井實枝

大波をさえぎる力我になし小さき舟よ波の間に間に　安藤鳩居子

隣の部屋に人は居らぬか電話のベル一時鳴りてやみてまたなる　稻垣輝安

依蘭まだ幾里ぞ雪の野は暮れて他國の星の光寒けし　川本榮次郎

となり家のボーイが鳴らす爆竹のはぜかねつつも年きたりたり　渡邊三角洲

振袖の着物きたがる子をもちて着せて喜こぶ親となりにし　三井實雄

爆火うすれ、焰に乳房のまろみしろくふるへる、雪の夜のうたたねて　泉芳雄

言かけし事はあらねど裏の人越して行きしは淋しきものか　石田幸

夕月のくらきひかりにほのかなる花合歡のはなはねむりけらしも　鶴慶夫

我といふ特性もちて居り人どちとこと道ゆくもけしくはあるまじ　上田壽

休み日の午後の陽射を面にうけ明るき部屋にひとり坐れり　高澤茂雄

雪原や燒きはらはれし家跡に大き石臼そのままにある　肥後正樹

いとし子の氷滑りのをかしさにくわへし煙草火は消えてをり　肥後喜一郎

幼子に妨げられず時に吸ふ煙草はうまし窓に凭りつつ　田崎登

煙匪掃蕩の非常線
愈よ實施の運び
二月十日附關東局令で公布
一般家庭にも適用

煤煙防止規則

毎日澤山の煙突から黒々と吐き出される煤煙は日常生活に非常に有害なものである、第一に健康上から見て呼吸器に入ると肺炎や慢性氣管支炎、肺氣腫等の原因となり、更に心臓病を起す事さへある、眼に入れば結膜炎を起し嚥み込むと胃腸障害を起す、又健康に最も大切な日光の紫外線を吸ひ取つて了ふので一般に身體を弱めて了ふ故に煤煙の多い工業都市を田園都市に比べると人の死ぬ割合が七割二分も多いのを見てもそれがよく解る、更に經濟上から見てどれだけ損をするかといふと煤煙の附着したものは舗道でも建築場でも品物でも唯汚れるばかりでなく其質は弱められ腐つてさへ行く、又煤煙を餘計に出す石炭の焚き方は石炭の熱を三割も無駄にしてゐる、煤煙によるこれ等の損害額は英國全體で一ケ年四億弗、北米合衆國全體で五億弗、日本では工業都市の大阪が一ケ年一人當り九圓五十錢、大連は十五圓十九錢、新京では十八圓七十八錢と推定されてゐる、冬期の永い滿洲で最も必要とする新鮮なる空氣を吸ふことも煤煙が多いため窓を閉め着物や身體が汚れるため外出を嫌がるため自然に少くない、從つて恐るべき結核を多發させること等に關聯して煤煙防止は滿洲の重大問題として關東局に於ては夙に煤煙防止規則につき調査研究中のところ二月十日局令第十號を以つて別項の如く煤煙防止規則を公布、二月二十日から實施することとなつた

"最も緊要な問題"
小坂衛生課長語る

煤煙防止規則の實施にあたり關東局小坂衛生課長は左の如く語つた

石炭を多く焚く滿洲に於てはあらゆる點から見て煤煙防止は最も緊要なる問題として數年前から調査研究中であつたが漸く實施の運びとなつた、防止規則のうちで内地で實施されてゐる規則と異る點は適用區域を指定してゐないことゝ警察官が一般家庭の燃燒裝置を隨時檢査することが出來るやうになつてゐる、これは外國にもまだ例を見ないことであるが防止の效果は大いにあげ得られることゝ思ふ

綠林の夢、うらぶれて
匪首保國捕る
潜伏中を双城堡警察の手で

滿洲事變直後より綠林の王者として北滿の曠野に暴威を振つた匪首保國こと宋佐鄕(四十五)が家族を伴ひ舊正月を知人の家で過さんと長春縣双城堡署管内に潜入したとの指名手配を受けた双城堡警察署では苦心捜査の結果十四日逮捕、家族四名と共に十五日首都警察廳に護送して來たが、これが匪賊の首魁かと思はれる好々爺然たる匪首保國とは本籍錦州省住所錦西縣宋家子屯で滿洲事變勃發當時は同錦西縣下の保甲班長として治安維持に活躍中急激に思想の悪轉を來した擧句、部下の保甲員三十名を銃器彈藥とともに

害する等純然たる思想匪として惡虐の限りを盡してゐたが日滿警憲の急追に堪へず、最近匪團を解消してすつかり凋落してゐたものである

民政部係員
火災現場視察

【安東國通】民政部より急派された地方司闘事務官一行は十五日午後六時十分着「ひかり」で安東に到着し、直ちに火災善後本部たる省長公館に入り詳細聽取の後滿洲舞臺の慘事現場を視察した

見舞金續々集る

【安東國通】滿洲舞臺の慘事に各方面の同情は集まり十五日午後平安北道關内務部長は美座知事代理として王省長を訪ひ衷心より見舞の言葉を述べた後美座知事より金千圓、愛國婦人會平安北道支部、日本赤十字社平安北道支部、社會事業會平安北道支部より金五百圓、平安北道金融組合一同より金百圓をそれぞれ見舞金として送つた

土們嶺驛附近に
好スロープ發見
二十一日スキー團体を募集

新京驛、ビユーローでは本年掉尾のスキー團體募集を計劃中であつたがこの程係員が土們嶺驛前の小山中腹に緩急様々の好スロープの展開する山地を下檢分して來たが積雪豐富、新京から最短距離のスキー場紹介のため來る廿一日(日曜日)土們嶺スキー團體を新京で募集することになつた

列車は同日午前十時三十分新京發、かへりが午後七時卅五分新京着、團費僅か一圓九十錢、但しスキー、辨當は各自持參(驛前に支那料理店あり)希望者は二十日までに驛(三一三二七六)ビユーロー(三一三三九三)まで申込まれたい、なほ土們嶺スキーは今回が最初の試みである

泣込みは、救はれても
禮狀も寄さぬ
恩知らず　新京署で慨然

宮城縣柴田郡村田町の木下穴藏(三十五)=假名=は不遇にある一家を救はんと一昨年單身來京し羽衣町の某方に勤めたが面白くないので退き彌生町の某氏方に寄食中十一日故郷に置いた老母が死去しその葬式やら今後の始末に歸郷せねばならぬのに一錢の旅費もなく十六日思案に餘つて新京署へ泣き込み十七日郷里へかへしてもらふことになつたかうして旅費を惠まれて歸してもらふ者が月に何十人とあるが、一本の禮狀はおろか着いたと云ふ葉書一枚寄す者もないとは全く世も末だと保安係も驚いてゐたが、最近ヘロ中毒になり將に一命を絡らんとする一歩前で助けられ戒煙所で中毒症狀を治してもらひ一月二十五日旅費を惠まれて熊本縣上益城郡に歸省した田浦政雄君から十六日たつた一本禮狀が屆いたが署ではこれが初めてだと云つてゐる

國婦新京支部
きのふ分會長會議

國防婦人會新京支部昭和十二年度第一回分會長會議は十六日午後一時より日滿軍人會館に於て開催され、本年度事業計畫案即ち

一、本部指導方針に基く支部本年度事業計畫に行事豫定の件
二、爾今新設分會に對し分會旗贈呈に關する件
三、貯蓄觀念向上の爲銀紙募集を實施致度件
四、從來通過傷病兵に對し茶碗を以て湯茶を贈呈致し居りしも之を壜詰として贈呈し度件
五、諸行事傳達方法に關する件
六、分會旗を交互に一ケ月間宛驛構内に委託し送迎當番以外特に夜間等に於ける有志の送迎時の爲備へ度き件
七、其の他各分會長の腹案等

を協議午後四時終了した、尚試案第四項の湯茶瓶詰用のレツテルにはやさしい文字で『國策遂行の重大任務の爲不幸白衣に變けられましたお姿を眼前に拜しまして私共の心は只感慨無量です、一日も早く全快なされ再び銃の許にお歸へり下さいそして頼もしき武勢姿となつて下さいませ』と書くことゝなつた

警察官一部異動

關東局では千葉鐵嶺警察署長の勇退に伴ひ十六日附一部異動を左の如く發令した

鐵嶺警察署長　警視　千葉宗正
依願免本官
鐵嶺警察署勤務　警部　羽田雄三
鐵嶺警察署長事務取扱を命ず
休職警視　酒井碩二
依願免本官

大同倶樂部小火

十六日午後七時南廣場大同倶樂部地下室ボイラー室から發火あはや大事に至らんとしたが駈けつけた滿鐵消防隊の手により同室のみ燒いて同八時鎭火した、原因はボイラーの過熱からと判明した

電話交換業務

電々會社では三月一日から左記電報局電話局に交換業務を開始し電報電話局に改定した

奉天省蓋平縣　蓋平電報局　蓋平縣署街

入江外科醫長　來社

新京市立醫院外科醫長に着任した醫學博士入江義一氏は十六日同院事務科長桑名楠男氏と挨拶に來社

中馬氏長男死去

新京バス會社營業課長中馬重宗氏長男毅さんはかねて病氣療養中のところ十六日午前七時十五分死去、告別式は十七日午後五時より曙町東本願寺において執行される

プレンソーダ

金融組合の佐野さん百人一首のみが唯一の趣味とことはるだけあり滿洲で一ばし取れるもので氏の息のかゝらぬものはない▼先に某クラブの歌留多會でその美事な讀つ振りに感嘆した丙組ファンが述懷して曰く「さすが佐野さんだけあつて今晩は實にとりよかつた、おまけに下の句から讀んでくれるのでなほ助かつた」▼いくら佐野さんでも下の句から讀む百人一首なんて初耳でよく聞いてみると、あまり讀み方が巧で丙組ファンは追ひつかず、結局一枚あて遲れていつたものと知れた

身重に病夫支へて
女手一つで屋台商
寒夜苦業の四ケ月、見事逆境押切つて
春甦る！中森善子さん一家

木綿は着れぬ、水仕事はいやと世の若い女性は日一日と虚榮に流れ昨日け喫茶店、今日は活動と遊惰に日を暮し白粉口紅と化粧にうき身をやつす者の多い中に顔にクリーム一つつけず骨までしみる極寒の夜を二時三時まで姙娠した腹をかゝへ支那そばの屋台行商をして病床の夫を養ひかよわい細腕で一家をさゝへる健氣な貞女あり……新京署保安係では一同口を揃へて節婦と折紙つけ賞揚してゐる

×　×

話題のヒロインは中森善子(二十四)さんと云ひ夫と郷里岡山縣和氣郡伊里村で理髪店をやつてゐたが思はぬ失敗で店をたゝみ昨年

四月 て來京中森さんは家運挽回を決意し手に覺えた理髪で日本橋通り某理髪館に職人となり善子さんは吉野町廣春洋行にショップガールとして甦生のスタートをした、無卦にある時は何事もうまくゆかないもので一時盛賑を極めた某理髪館もどふした事か日に月に衰へ店員等も一人減り二人やめて店はさびれる一方、でも折角勤めて主從となつた上は主の悲境捨てゝも行けずと苦しい中を忍び主家の盛りかへしに努力したが報ひられぬ中に不幸中森さんは持病の痔で遂に廻てなくなり止むなく店を退いたのが八月末であつた

主家の不振で殆んど滿足な給料も貰つて居らず貯へとては一錢もなく

急窮 の手當はおろかその日の糊口に事欠く始末、善子さんは廣春洋行に勤めてゐるとは云へもらふ給料では二人の食住には如何しても足らず中森氏の病狀は段々悪化し今は只死を待つのみの捜軀を擁し悲歎の涙にくれるのみであつた、この時これではいけない滿洲まで來てこんな弱いことでは、何でもやつて出來ない事はない……と奮然決心した善子さんはあれかこれかと思案の末支那そば行商を思ひ立ち十月中旬廣春洋行から暇をとり屋台を借りて不馴な手つきでその夜から〆イヤ街に開業した

なれぬことゝて手違ひ多く加へて夜おそく若い女のみそで醉つぱらひなどに叱られ怒鳴られ幾度か泣いたことだらう、それでも忍耐の二字を常に心に懷きしめ二時三時まで凍りつく夜更けの町にあらくれ男を相手にし歸れば病床に呻吟する夫を慰め看病し着たまゝで一寸まどろんだと思へばはや鷄の骨の買付けに行かねばならず血みどろになつて世の荒波と鬪ふこと四ケ月、この大の男も及ばぬ働きに鬼神も感じてか近頃は夫の病快方に向ひ一家の上にも

春が 訪れやうとしてゐる、新京署保安係から聞いた賞讚の言葉を齎らして曙町四丁目の中森氏の寓居を訪へば善子さん……この人が話のやうな勇者かと思はれるしとやかさでだが苦勞なぞとは誰の事と云ふ朗かさでもの優しく氣持よく迎へてくれる、

そんなこと云はれるとお恥しい次第です、只もう夫の病氣をなほしたい一念で警察の方々の優しい慰めと激勵の御言葉を張り合ひにして力一つぱい働きました、初めのうちは金はなし仕事にはなれないし悲しさと口惜しさで幾度も泣あかしました、今迄に經驗のないことでおそばのしたじなんかもうまくゆかないこともありそんな時こんなもの食へるかなんて突き返へされたり道路にあけられたりした時の悲しさ、何處を向いても知つた人もなし一錢だつて誰れも貸してはくれず木炭なぞも三錢、五錢と買ひ夜おそくまで居ても五つか十しか賣れず毎日赤字赤字でお恥しい話ながら質草もなくなつた時にはほんとにどうしやうかと思ひました、それでも今になれたらお客樣も來て下さるだらう、やめたら夫を殺してしまはねばならないと誰れも相談相手はなし一人で慰め一人で答へて辛棒しましたおかげでこの頃は夫の病もよくなり商賣も段々繁昌して來てよろこんで居ます、人なんか食ふ食へないの塊へ行つて決心さへすればどんなつらい事でもしとほせるものですね……

と思ひ出を語る時つらかつた日を追憶してか

今日 の喜びをたゝへてか目には露が見えた、善子さんも旬日中にはおめでたとの事これを知つた廣春洋行では善子さんの衣類支度一切をお祝にもつて來て泉れたとは……中森一家の前途に祝福あれ【寫眞は美談の主善子さん】

煤煙防止規則

第一條　本令は汽罐、溫水罐、窯爐、風呂罐にして營業の用に供するもの其他滿洲國駐劄特命全權大使(關東州に在りては關東州廳長官)に於て必要と認むる燃燒裝置に之を適用す

第二條　燃燒裝置を使用する者は其の煙突より「リンゲルマン」煤煙濃度三度以上の煤煙を一時間に付き總計六分を超へて發散せしむることを得す但し燃料の點火罐替及爐内の掃除の場合に限り一時間に於て分を超へさる限度に於ては此の限りに在らす

當該官吏は前條の燃燒裝置にして左に掲くるものに付ては前項の限度を斟酌することを得

一、金屬加熱爐にして還元焔を使用する必要ありと認めたるもの
二、窯業用加燒爐にして還元焔を使用する必要ありと認めたるもの
三、作業の性質及負荷の激變に因り短時間内に於ける負荷の過重已むを得すと認めたるもの並に之に準するもの

第三條　大使(關東州に在りては關東州廳長官)は燃燒裝置又は其の設備燃料若は燃燒使用方法にして煤煙防止の爲不適當と認むるときは必要なる施設若は變更を命し又は其の使用を制限し若は禁止することあるへし

第四條　燃燒裝置の使用者は燃燒作業從事者を定め燃燒に關する作業を擔任せしむへし

前項の燃燒作業從事者を定めたるときは二十日内に其の本籍住所氏名生年月日及履歴書を具し所轄警察署長に屆出つへし之を變更したるとき亦同し

第五條　燃燒作業場に於ては燃燒作業從事者の氏名を見易き場所に掲示し置くへし

燃燒作業從事者は就業中左の事項を遵守すへし

一、制限せられたる濃度を超へて煤煙を發散せしめさること
二、燃燒裝置の取扱及燃燒狀態に注意し煤煙防止に努むること
三、濫りに持場を離れさること

第六條　所轄警察署長は燃燒作業從事者にして前條の規定に違反したるとき又は不適當と認むるときは其の變更を命することを得

第七條　所轄警察署長は當該官吏をして燃燒裝置並に其の設備燃料及使用方法を隨時檢査せしむることを得

前項の場合に於ては當該官吏は其の證票を携帶す

燃燒裝置の使用者は第一項の檢査を拒むことを得す

第八條　本令又は本令に基く命令に違反したる者は拘留又は科料に處す

第九條　燃燒裝置の使用者は其の代理人、戸主、家族、同居者、雇人其の他の從業者か其の業務に關し本令又は本令に基く命令に違反したるときは自己の指揮に出てさるの故を以て其の責を免るることを得す

第十條　本令に依り適用すへき罰則は其の者が法人なるときは理事、取締役其の他法人の業務を執行する役員に未成年者又は禁治産者なるときは其の法定代理人に之を適用す但し營業に關し成年者と同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らす

第十一條　第七條の規定は第一條に掲くるものを除く石炭を燃料とする燃燒裝置に之を準用す

第十二條　大使必要ありと認むるときは別に區域を指定し本令を適用せさることあるへし

附則

本令は昭和十二年二月二十日より之を施行す

告示

關東局告示第七號

煤煙防止規則第七條第二項の證票左の通定む

昭和十二年二月十日

滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

表

第　號
煤煙防止規則に依る檢査員之證
昭和　年　月　日支付
何警察署
何警察署之印

三寸　二寸

裏

煤煙防止規則(抄)
第七條　所轄警察署長は當該官吏をして燃燒裝置並に其の設備、燃料及使用方法を隨時檢査せしむることを得
前項の場合に於ては當該官吏は其の證票を携帶す
燃燒裝置の使用者は第一項の檢査を拒むことを得す
第八條　本令又は本令に基く命令に違反したる者は拘留又は科料に處す

關東局告示第八號

煤煙防止規則第十二條に依り同規則を適用せざる區域左の通指定す

昭和十二年二月十日

滿洲國駐劄特命全權大使　植田謙吉

航行中の船舶

戀愛 髑髏組 (映畫上演脚色化)

林杢兵衛 / 金子士郎畫

(五)

蛤茶屋(十)

『惡いこたア云はねえから代官の惡口だけはやめときねえ。お互えに代官に睨まれちやア動きのとれねえ弱え身だ。ところで小六、お前にちつとばかり相談があるんだ』

『俺に？』

『うン、實ア今お前ンちへ行つたが居ねえから、多分此處だらうと覗いてみたんだ。外でもねえがなア小六……』

そう言つて、今更のやうに四邊を見廻した勘太。

一同は狐にでもつまゝれたやうにポカンとしてゐる。

『店のトッ先でも出來ねえ話しだ。とに角奧へ這入つて貰はう』

『そんな入組んだ話か？』

『そうでもねえが、まゝ蛤鍋で一杯飲みながら話さうぢやねえか』

『駄目だい、ネタ切れだ』

『何を？』

『まさか僞金ぢやなからうね……』

『ヘッ、ヘッ年はとりたくねえもんだ。いくら向ふ見ずの勘太でも、僞金使やアしばり首位えは承知之助だ。心配はいらねえから取つときねえ』

いつになく氣前を見せて、小六と一緒に奧へ這入つた。

ちやぶ臺を挾んで尻を落つけると

『一體、どんな話だい？』

怪訝さうに小六がきいた。

『外でもねえ、實アお前がいま惡たれついてゐた代官さ、芝本のよう』

『それがどうした。博奕でもやりてえと言つたんかい？』

『馬鹿野郎、いくらポンクラでも博奕を打つ代官が何處にある』

喚鳴つてから、聲を落して

『女を取り持てとよ』

『な、な、何を。ヘン笑はしい』

『うン、さうだ呆れたか』

『呆れるどころか、世の中にこれ位え間違つた、出來ねえ相談があつたもんぢやねえ。そう言やアきのふの晩方、延命院裏の土堤でちらと見たが美しいや。あれだけ整つた女ア世の中にそうザラにあるもんぢやねえ。惚れるにもことかいて、幾代さん……チェッ馬鹿々々しくつて物が言はれねえや』

小六はてんで取り合はない。

『心配するな、俺の懐へでもたまにや山吹き色が轉げこまアな』

『本當かい？』

『見くびるな、勘太にやちやンと金穴があらア』

『讀めた。さては倉持の……』

『シーッ、だからお前にや人の居る處で話が出來ねえや。とに角奧へ這入ンな。婆アさんちよつぴり奧を借りるから、いつもの蛤鍋と酒を五六本用意してくんな』

『いゝかい勘太さん、またいつものやうに飲んぢまつてから、蛇の性で金けは嫌えだ。ぢや困りますよ』

『ヘン、婆アまでがつまらぬ取越し苦勞をしやがらア、今日の勘太さんはいつもの勘太さんとちツとばかし違ふんだ。そんな心配なら……待てよ……そうら先金だ、婆さん一兩だぜ』

腰掛のどんぶりから取り出した小判一枚。婆アは目を丸くした。

『いゝかい勘太さん』

やがらア、あの御面相で……愚鈍は性質だから仕方もねえが、火傷の引つりと、赤毛の縮くれと、むき出した眼玉の大小が御念入に化物と相場づけ、どう贔屓目に見ても人間とは思はれねえ代物だが、あれでも色氣があるのかなア』

『だから不思議だよ』

『だが、隨分世の中にやアいかもの喰ひをする變り者もあるから、何處かにやア小判の光りに引かされる女がねえとも限るめえが、何れにしても面倒な話だぜ』

『それがよ、盲目でも跛でも女でせえありやかまはねえとでも言ふなら、また何んとか話のつけやうもあるてえもんだが、御本人に大それた目當があるから始末におえねえや……』

『名指しかい。ふーン。で一體當の相手てえなア何處の女だい？』

『それが事もあらうに丁字屋の……』

『なに丁字屋だぞ幾代さんか』